

【表紙】

【提出書類】	半期報告書
【提出先】	関東財務局長殿
【提出日】	2022年10月11日提出
【計算期間】	第4期中(自 2022年1月12日 至 2022年7月11日)
【ファンド名】	投資のソムリエ(ターゲット・イヤー2040) 投資のソムリエ(ターゲット・イヤー2050) 投資のソムリエ(ターゲット・イヤー2060)
【発行者名】	アセットマネジメントOne株式会社
【代表者の役職氏名】	取締役社長 菅野 暁
【本店の所在の場所】	東京都千代田区丸の内一丁目8番2号
【事務連絡者氏名】	酒井 隆
【連絡場所】	東京都千代田区丸の内一丁目8番2号
【電話番号】	03-6774-5100
【縦覧に供する場所】	該当事項はありません。

1【ファンドの運用状況】

(1)【投資状況】

投資のソムリエ(ターゲット・イヤー2040)

2022年7月29日現在

資産の種類	時価合計(円)	投資比率(%)
親投資信託受益証券	1,620,414,338	97.12
内 日本	1,620,414,338	97.12
コール・ローン、その他の資産(負債控除後)	48,102,321	2.88
純資産総額	1,668,516,659	100.00

(注1) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率です。

(注2) 資産の種類の内書は、当該資産の発行体又は上場金融商品取引所の国/地域別に表示しています。

投資のソムリエ(ターゲット・イヤー2050)

2022年7月29日現在

資産の種類	時価合計(円)	投資比率(%)
親投資信託受益証券	705,377,364	98.02
内 日本	705,377,364	98.02
コール・ローン、その他の資産(負債控除後)	14,247,186	1.98
純資産総額	719,624,550	100.00

(注1) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率です。

(注2) 資産の種類の内書は、当該資産の発行体又は上場金融商品取引所の国/地域別に表示しています。

投資のソムリエ(ターゲット・イヤー2060)

2022年7月29日現在

資産の種類	時価合計(円)	投資比率(%)
親投資信託受益証券	457,741,940	97.93
内 日本	457,741,940	97.93
コール・ローン、その他の資産(負債控除後)	9,655,842	2.07
純資産総額	467,397,782	100.00

(注1) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率です。

(注2) 資産の種類の内書は、当該資産の発行体又は上場金融商品取引所の国/地域別に表示しています。

(参考)

国内債券パッシブ・ファンド・マザーファンド

2022年7月29日現在

資産の種類	時価合計(円)	投資比率(%)
国債証券	445,385,909,550	82.53
内 日本	445,385,909,550	82.53
地方債証券	33,072,719,520	6.13
内 日本	33,072,719,520	6.13
特殊債券	30,718,529,194	5.69
内 日本	30,718,529,194	5.69
社債券	26,466,064,900	4.90
内 日本	25,667,738,900	4.76
内 フランス	798,326,000	0.15
コール・ローン、その他の資産(負債控除後)	4,045,570,027	0.75
純資産総額	539,688,793,191	100.00

(注1) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率です。

(注2) 資産の種類の内書は、当該資産の発行体又は上場金融商品取引所の国/地域別に表示しています。

国内株式パッシブ・ファンド(最適化法)・マザーファンド

2022年7月29日現在

資産の種類	時価合計(円)	投資比率(%)
株式	446,198,914,370	97.15
内 日本	446,198,914,370	97.15
コール・ローン、その他の資産(負債控除後)	13,111,513,928	2.85
純資産総額	459,310,428,298	100.00

その他資産の投資状況

2022年7月29日現在

資産の種類	時価合計(円)	投資比率(%)
株価指数先物取引(買建)	13,155,625,000	2.86
内 日本	13,155,625,000	2.86

(注1) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率です。

(注2) 資産の種類の内書は、当該資産の発行体又は上場金融商品取引所の国/地域別に表示しています。

(注3) 先物取引の時価は、原則として計算日に知りうる直近の日の主たる金融商品取引所等の発表する清算値段又は最終相場で評価しています。

為替フルヘッジ外国債券パッシブ・ファンド・マザーファンド

2022年7月29日現在

資産の種類	時価合計(円)	投資比率(%)
国債証券	378,400,144,373	97.02
内 アメリカ	192,375,009,496	49.32
内 フランス	33,535,086,057	8.60
内 イタリア	29,586,555,655	7.59
内 ドイツ	24,958,233,966	6.40
内 スペイン	20,042,407,318	5.14
内 イギリス	19,292,352,856	4.95
内 中国	8,503,865,416	2.18
内 カナダ	7,941,216,821	2.04
内 ベルギー	7,504,563,690	1.92
内 オランダ	6,616,129,653	1.70
内 オーストラリア	5,889,986,323	1.51
内 オーストリア	4,887,457,825	1.25
内 メキシコ	2,890,294,715	0.74
内 アイルランド	2,555,303,147	0.66
内 フィンランド	2,057,280,437	0.53
内 マレーシア	1,857,084,231	0.48
内 シンガポール	1,657,673,159	0.43
内 ポーランド	1,551,339,583	0.40
内 イスラエル	1,495,285,311	0.38
内 デンマーク	1,425,897,065	0.37
内 スウェーデン	1,000,652,772	0.26
内 ノルウェー	776,468,877	0.20
コール・ローン、その他の資産(負債控除後)	11,620,628,414	2.98
純資産総額	390,020,772,787	100.00

(注1) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率です。

(注2) 資産の種類の内書は、当該資産の発行体又は上場金融商品取引所の国/地域別に表示しています。

外国株式パッシブ・ファンド・マザーファンド

2022年7月29日現在

資産の種類	時価合計(円)	投資比率(%)
-------	---------	---------

株式		725,515,532,481	95.22
	内 アメリカ	515,624,280,789	67.67
	内 イギリス	31,748,850,150	4.17
	内 カナダ	28,168,019,121	3.70
	内 スイス	24,715,434,519	3.24
	内 フランス	22,103,909,703	2.90
	内 ドイツ	15,941,658,399	2.09
	内 オーストラリア	15,900,000,831	2.09
	内 オランダ	13,305,563,786	1.75
	内 アイルランド	13,052,035,009	1.71
	内 スウェーデン	7,054,329,032	0.93
	内 デンマーク	6,040,172,985	0.79
	内 スペイン	5,135,762,616	0.67
	内 香港	4,987,138,038	0.65
	内 イタリア	3,340,034,399	0.44
	内 ジャージー	2,777,083,245	0.36
	内 フィンランド	2,597,135,784	0.34
	内 シンガポール	2,377,181,750	0.31
	内 ノルウェー	1,811,611,207	0.24
	内 ベルギー	1,695,576,760	0.22
	内 イスラエル	1,609,867,886	0.21
	内 ケイマン諸島	1,603,813,246	0.21
	内 バミューダ	979,356,787	0.13
	内 オランダ領キュラソー	765,738,042	0.10
	内 ニュージーランド	516,792,528	0.07
	内 ルクセンブルグ	510,493,445	0.07
	内 ポルトガル	405,576,922	0.05
	内 オーストリア	362,463,362	0.05
	内 リベリア	140,031,985	0.02
	内 パナマ	126,102,580	0.02
	内 マン島	119,517,575	0.02
投資信託受益証券		1,319,664,197	0.17
	内 オーストラリア	955,402,094	0.13
	内 シンガポール	364,262,103	0.05
投資証券		17,583,792,130	2.31
	内 アメリカ	16,463,057,890	2.16
	内 イギリス	427,322,111	0.06
	内 フランス	285,190,870	0.04
	内 香港	261,024,413	0.03
	内 カナダ	74,515,203	0.01
	内 ベルギー	72,681,643	0.01
コール・ローン、その他の資産(負債控除後)		17,524,983,249	2.30
純資産総額		761,943,972,057	100.00

その他資産の投資状況

2022年7月29日現在

資産の種類	時価合計(円)	投資比率(%)
株価指数先物取引(買建)	17,857,568,666	2.34
内 アメリカ	13,516,429,032	1.77
内 ドイツ	2,462,709,690	0.32

内 イギリス	812,955,340	0.11
内 カナダ	665,654,479	0.09
内 オーストラリア	399,820,125	0.05

(注1) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率です。

(注2) 資産の種類の内書は、当該資産の発行体又は上場金融商品取引所の国/地域別に表示しています。

(注3) 先物取引の時価は、原則として計算日に知りうる直近の日の主たる金融商品取引所等の発表する清算値段又は最終相場で評価しています。

J-REITインデックスファンド・マザーファンド

2022年7月29日現在

資産の種類	時価合計(円)	投資比率(%)
投資証券	199,983,017,400	97.64
内 日本	199,983,017,400	97.64
コール・ローン、その他の資産(負債控除後)	4,825,278,711	2.36
純資産総額	204,808,296,111	100.00

その他資産の投資状況

2022年7月29日現在

資産の種類	時価合計(円)	投資比率(%)
不動産投信指数先物取引(買建)	4,697,370,000	2.29
内 日本	4,697,370,000	2.29

(注1) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率です。

(注2) 資産の種類の内書は、当該資産の発行体又は上場金融商品取引所の国/地域別に表示しています。

(注3) 先物取引の時価は、原則として計算日に知りうる直近の日の主たる金融商品取引所等の発表する清算値段又は最終相場で評価しています。

外国リート・パッシブ・ファンド・マザーファンド

2022年7月29日現在

資産の種類	時価合計(円)	投資比率(%)
投資信託受益証券	7,492,097,572	9.95
内 オーストラリア	4,753,641,058	6.31
内 シンガポール	2,674,626,615	3.55
内 香港	63,829,899	0.08
投資証券	67,519,268,405	89.66
内 アメリカ	58,120,968,695	77.18
内 イギリス	3,779,387,825	5.02
内 カナダ	1,360,921,075	1.81
内 フランス	1,163,256,107	1.54
内 香港	1,043,373,624	1.39
内 ベルギー	838,768,064	1.11
内 スペイン	281,655,541	0.37
内 ニュージーランド	263,151,272	0.35
内 ガーンジー	192,700,683	0.26
内 韓国	163,838,366	0.22
内 オランダ	130,512,305	0.17
内 イスラエル	86,452,606	0.11
内 ドイツ	42,617,421	0.06
内 アイルランド	31,669,295	0.04
内 イタリア	19,995,526	0.03
コール・ローン、その他の資産(負債控除後)	294,759,809	0.39
純資産総額	75,306,125,786	100.00

(注1) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率です。

(注2) 資産の種類の内書は、当該資産の発行体又は上場金融商品取引所の国/地域別に表示しています。

エマージング債券パッシブ・マザーファンド

2022年7月29日現在

資産の種類	時価合計(円)	投資比率(%)
国債証券	134,985,160,025	98.23
内 メキシコ	12,729,122,044	9.26
内 カタール	12,178,426,495	8.86
内 サウジアラビア	12,159,948,496	8.85
内 アラブ首長国連邦	11,021,456,640	8.02
内 インドネシア	10,935,443,275	7.96
内 ブラジル	9,906,590,828	7.21
内 フィリピン	8,319,456,350	6.05
内 チリ	8,218,091,604	5.98
内 コロンビア	8,098,494,582	5.89
内 パナマ	7,932,084,773	5.77
内 南アフリカ	6,994,000,903	5.09
内 ペルー	6,658,170,804	4.85
内 ドミニカ共和国	6,008,148,861	4.37
内 ハンガリー	4,783,594,049	3.48
内 ルーマニア	3,437,677,877	2.50
内 ウルグアイ	3,234,067,252	2.35
内 クロアチア	1,624,247,281	1.18
内 中国	746,137,911	0.54
コール・ローン、その他の資産(負債控除後)	2,426,809,067	1.77
純資産総額	137,411,969,092	100.00

(注1) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率です。

(注2) 資産の種類の内書は、当該資産の発行体又は上場金融商品取引所の国/地域別に表示しています。

エマージング株式パッシブ・マザーファンド

2022年7月29日現在

資産の種類	時価合計(円)	投資比率(%)
株式	58,074,471,679	90.37
内 ケイマン諸島	10,964,082,112	17.06
内 台湾	8,299,498,525	12.92
内 インド	8,006,458,551	12.46
内 中国	7,286,233,624	11.34
内 韓国	6,958,460,082	10.83
内 ブラジル	2,870,174,166	4.47
内 サウジアラビア	2,628,197,671	4.09
内 南アフリカ	2,022,814,696	3.15
内 インドネシア	1,105,660,346	1.72
内 タイ	1,087,852,020	1.69
内 メキシコ	981,871,551	1.53
内 マレーシア	875,602,709	1.36
内 アラブ首長国連邦	768,671,349	1.20
内 香港	729,968,487	1.14
内 カタール	639,819,789	1.00
内 クエート	493,545,842	0.77

内 フィリピン	431,989,275	0.67
内 バミューダ	337,508,180	0.53
内 ポーランド	332,736,320	0.52
内 チリ	330,715,829	0.51
内 アメリカ	215,651,121	0.34
内 トルコ	152,563,516	0.24
内 ギリシャ	150,066,156	0.23
内 チェコ	94,427,968	0.15
内 コロンビア	93,024,628	0.14
内 ハンガリー	92,566,154	0.14
内 ルクセンブルグ	61,936,026	0.10
内 エジプト	33,890,624	0.05
内 シンガポール	18,886,609	0.03
内 ペルー	9,597,753	0.01
内 オランダ	0	0.00
内 ロシア	0	0.00
内 キプロス	0	0.00
内 イギリス領バージン諸島	0	0.00
投資信託受益証券	327,109,225	0.51
内 メキシコ	224,216,785	0.35
内 ブラジル	102,892,440	0.16
投資証券	59,691,527	0.09
内 メキシコ	32,116,002	0.05
内 南アフリカ	27,575,525	0.04
コール・ローン、その他の資産(負債控除後)	5,799,160,539	9.02
純資産総額	64,260,432,970	100.00

その他資産の投資状況

2022年7月29日現在

資産の種類	時価合計(円)	投資比率(%)
株価指数先物取引(買建)	5,847,264,561	9.10
内 アメリカ	5,847,264,561	9.10

(注1) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率です。

(注2) 資産の種類の内書は、当該資産の発行体又は上場金融商品取引所の国/地域別に表示しています。

(注3) 先物取引の時価は、原則として計算日に知りうる直近の日の主たる金融商品取引所等の発表する清算値段又は最終相場で評価しています。

(2) 【運用実績】

【純資産の推移】

投資のソムリエ(ターゲット・イヤー2040)

直近日(2022年7月末)、同日前1年以内における各月末及び下記計算期間末における純資産の推移は次の通りです。

	純資産総額 (分配落) (百万円)	純資産総額 (分配付) (百万円)	1口当たりの 純資産額 (分配落)(円)	1口当たりの 純資産額 (分配付)(円)
第1計算期間末 (2020年1月14日)	17	17	1.0702	1.0702
第2計算期間末 (2021年1月12日)	181	181	1.0566	1.0566
第3計算期間末 (2022年1月11日)	908	908	1.1159	1.1159

2021年7月末日	471	-	1.0961	-
8月末日	504	-	1.1079	-
9月末日	533	-	1.0982	-
10月末日	578	-	1.1206	-
11月末日	593	-	1.1089	-
12月末日	625	-	1.1272	-
2022年1月末日	945	-	1.0913	-
2月末日	954	-	1.0738	-
3月末日	1,032	-	1.0912	-
4月末日	1,052	-	1.0665	-
5月末日	1,507	-	1.0591	-
6月末日	1,550	-	1.0342	-
7月末日	1,668	-	1.0601	-

投資のソムリエ(ターゲット・イヤー2050)

直近日(2022年7月末)、同日前1年以内における各月末及び下記計算期間末における純資産の推移は次の通りです。

	純資産総額 (分配落) (百万円)	純資産総額 (分配付) (百万円)	1口当たりの 純資産額 (分配落)(円)	1口当たりの 純資産額 (分配付)(円)
第1計算期間末 (2020年1月14日)	14	14	1.0698	1.0698
第2計算期間末 (2021年1月12日)	97	97	1.0590	1.0590
第3計算期間末 (2022年1月11日)	376	376	1.1173	1.1173
2021年7月末日	228	-	1.0983	-
8月末日	248	-	1.1099	-
9月末日	258	-	1.1006	-
10月末日	284	-	1.1230	-
11月末日	297	-	1.1107	-
12月末日	320	-	1.1289	-
2022年1月末日	385	-	1.0917	-
2月末日	398	-	1.0742	-
3月末日	440	-	1.0955	-
4月末日	457	-	1.0701	-
5月末日	646	-	1.0617	-
6月末日	681	-	1.0370	-
7月末日	719	-	1.0624	-

投資のソムリエ(ターゲット・イヤー2060)

直近日(2022年7月末)、同日前1年以内における各月末及び下記計算期間末における純資産の推移は次の通りです。

	純資産総額 (分配落) (百万円)	純資産総額 (分配付) (百万円)	1口当たりの 純資産額 (分配落)(円)	1口当たりの 純資産額 (分配付)(円)
第1計算期間末 (2020年1月14日)	14	14	1.0699	1.0699
第2計算期間末 (2021年1月12日)	96	96	1.0560	1.0560
第3計算期間末 (2022年1月11日)	324	324	1.1141	1.1141

2021年7月末日	186	-	1.0950	-
8月末日	200	-	1.1065	-
9月末日	208	-	1.0971	-
10月末日	227	-	1.1200	-
11月末日	235	-	1.1076	-
12月末日	268	-	1.1257	-
2022年1月末日	328	-	1.0886	-
2月末日	325	-	1.0717	-
3月末日	348	-	1.0931	-
4月末日	345	-	1.0673	-
5月末日	427	-	1.0590	-
6月末日	441	-	1.0334	-
7月末日	467	-	1.0587	-

【分配の推移】

投資のソムリエ(ターゲット・イヤー2040)

	1口当たりの分配金(円)
第1計算期間	0.0000
第2計算期間	0.0000
第3計算期間	0.0000
2022年1月12日～2022年7月11日	-

投資のソムリエ(ターゲット・イヤー2050)

	1口当たりの分配金(円)
第1計算期間	0.0000
第2計算期間	0.0000
第3計算期間	0.0000
2022年1月12日～2022年7月11日	-

投資のソムリエ(ターゲット・イヤー2060)

	1口当たりの分配金(円)
第1計算期間	0.0000
第2計算期間	0.0000
第3計算期間	0.0000
2022年1月12日～2022年7月11日	-

【収益率の推移】

投資のソムリエ(ターゲット・イヤー2040)

	収益率(%)
第1計算期間	7.0
第2計算期間	1.3
第3計算期間	5.6
2022年1月12日～2022年7月11日	6.7

(注) 収益率は期間騰落率です。

投資のソムリエ(ターゲット・イヤー2050)

	収益率(%)
第1計算期間	7.0
第2計算期間	1.0
第3計算期間	5.5

2022年1月12日～2022年7月11日	6.7
-----------------------	-----

(注) 収益率は期間騰落率です。

投資のソムリエ(ターゲット・イヤー2060)

	収益率(%)
第1計算期間	7.0
第2計算期間	1.3
第3計算期間	5.5
2022年1月12日～2022年7月11日	6.8

(注) 収益率は期間騰落率です。

2【設定及び解約の実績】

投資のソムリエ(ターゲット・イヤー2040)

	設定口数	解約口数
第1計算期間	15,978,994	0
第2計算期間	166,986,041	10,985,689
第3計算期間	681,883,755	39,784,704
2022年1月12日～ 2022年7月11日	772,332,167	55,656,519

(注1) 本邦外における設定及び解約はありません。

(注2) 第1計算期間の設定口数には、当初設定口数を含みます。

投資のソムリエ(ターゲット・イヤー2050)

	設定口数	解約口数
第1計算期間	13,549,161	0
第2計算期間	88,254,390	9,900,540
第3計算期間	276,898,986	31,426,491
2022年1月12日～ 2022年7月11日	353,619,770	24,411,035

(注1) 本邦外における設定及び解約はありません。

(注2) 第1計算期間の設定口数には、当初設定口数を含みます。

投資のソムリエ(ターゲット・イヤー2060)

	設定口数	解約口数
第1計算期間	13,529,038	0
第2計算期間	93,411,729	15,869,764
第3計算期間	269,230,751	69,224,021
2022年1月12日～ 2022年7月11日	181,699,663	44,619,819

(注1) 本邦外における設定及び解約はありません。

(注2) 第1計算期間の設定口数には、当初設定口数を含みます。

3【ファンドの経理状況】

投資のソムリエ(ターゲット・イヤー2040)

投資のソムリエ(ターゲット・イヤー2050)

投資のソムリエ(ターゲット・イヤー2060)

(1) 当ファンドの中間財務諸表は、「中間財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(昭和52年大蔵省令第38号)並びに同規則第38条の3及び第57条の2の規定により、「投資信託財産の計算に関する規則」(平成12年総理府令第133号)に基づいて作成しております。

なお、中間財務諸表に記載している金額は、円単位で表示しております。

(2) 当ファンドは、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第4期中間計算期間(2022年1月12日から2022年7月11日まで)の中間財務諸表について、EY新日本有限責任監査法人による中間監査を受けております。

中間財務諸表

【投資のソムリエ(ターゲット・イヤー2040)】

(1)【中間貸借対照表】

(単位:円)

	第3期 2022年1月11日現在	第4期中間計算期間末 2022年7月11日現在
資産の部		
流動資産		
コール・ローン	23,738,062	54,044,268
親投資信託受益証券	886,838,927	1,547,121,686
派生商品評価勘定	601,886	257,802
流動資産合計	911,178,875	1,601,423,756
資産合計	911,178,875	1,601,423,756
負債の部		
流動負債		
派生商品評価勘定	336,875	3,671,213
未払解約金	145,844	284,294
未払受託者報酬	91,578	181,997
未払委託者報酬	2,198,854	4,368,998
その他未払費用	10,787	21,511
流動負債合計	2,783,938	8,528,013
負債合計	2,783,938	8,528,013
純資産の部		
元本等		
元本	814,078,397	1,530,754,045
剰余金		
中間剰余金又は中間欠損金()	94,316,540	62,141,698
(分配準備積立金)	19,512,288	18,469,880
元本等合計	908,394,937	1,592,895,743
純資産合計	908,394,937	1,592,895,743
負債純資産合計	911,178,875	1,601,423,756

(2)【中間損益及び剰余金計算書】

(単位:円)

	第3期中間計算期間 自 2021年1月13日 至 2021年7月12日	第4期中間計算期間 自 2022年1月12日 至 2022年7月11日
営業収益		
受取利息	1	153
有価証券売買等損益	17,781,038	59,517,241
為替差損益	3,953,344	8,628,691
営業収益合計	13,827,695	68,145,779
営業費用		
支払利息	695	3,607
受託者報酬	45,492	181,997
委託者報酬	1,092,726	4,368,998
その他費用	5,307	21,511
営業費用合計	1,144,220	4,576,113
営業利益又は営業損失()	12,683,475	72,721,892
経常利益又は経常損失()	12,683,475	72,721,892
中間純利益又は中間純損失()	12,683,475	72,721,892
一部解約に伴う中間純利益金額の分配額又は一部解約に伴う中間純損失金額の分配額()	163,542	2,103,325
期首剰余金又は期首欠損金()	9,736,542	94,316,540
剰余金増加額又は欠損金減少額	19,313,991	44,368,581
中間一部解約に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	-	-
中間追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	19,313,991	44,368,581
剰余金減少額又は欠損金増加額	1,098,893	5,924,856
中間一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	1,098,893	5,924,856
中間追加信託に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	-	-
分配金	-	-
中間剰余金又は中間欠損金()	40,471,573	62,141,698

(3)【中間注記表】

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

項目	第4期中間計算期間	
	自 2022年1月12日	至 2022年7月11日
1. 有価証券の評価基準及び評価方法	親投資信託受益証券 移動平均法に基づき、原則として時価で評価しております。時価評価にあたっては、親投資信託受益証券の基準価額に基づいて評価しております。	
2. デリバティブ等の評価基準及び評価方法	為替予約取引 原則として、わが国における計算日の対顧客先物売買相場の仲値によって計算しております。	

(中間貸借対照表に関する注記)

項目	第3期	第4期中間計算期間末
	2022年1月11日現在	2022年7月11日現在
1. 期首元本額	171,979,346円	814,078,397円
期中追加設定元本額	681,883,755円	772,332,167円
期中一部解約元本額	39,784,704円	55,656,519円
2. 受益権の総数	814,078,397口	1,530,754,045口

(中間損益及び剰余金計算書に関する注記)

該当事項はありません。

(金融商品に関する注記)

金融商品の時価等に関する事項

項目	第3期	第4期中間計算期間末
	2022年1月11日現在	2022年7月11日現在
1. 中間貸借対照表計上額、時価及びその差額	貸借対照表上の金融商品は原則としてすべて時価で評価しているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。	中間貸借対照表上の金融商品は原則としてすべて時価で評価しているため、中間貸借対照表計上額と時価との差額はありません。
2. 時価の算定方法	(1)有価証券 「(重要な会計方針に係る事項に関する注記)」にて記載しております。 (2)デリバティブ取引 「(デリバティブ取引等に関する注記)」にて記載しております。 (3)上記以外の金融商品 上記以外の金融商品(コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務)は短期間で決済されるため、帳簿価額は時価と近似していることから、当該帳簿価額を時価としております。	同左

3. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。また、デリバティブ取引に関する契約額等は、あくまでもデリバティブ取引における名目的な契約額であり、当該金額自体がデリバティブ取引のリスクの大きさを示すものではありません。	金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。また、デリバティブ取引に関する契約額等は、あくまでもデリバティブ取引における名目的な契約額であり、当該金額自体がデリバティブ取引のリスクの大きさを示すものではありません。
----------------------------	--	---

(デリバティブ取引等に関する注記)

通貨関連

種類	第3期 2022年1月11日現在			
	契約額等(円)		時価(円)	評価損益(円)
		うち 1年超		
市場取引以外の取引 為替予約取引				
売建	34,388,495	-	34,587,136	198,641
アメリカ・ドル	9,246,853	-	9,177,752	69,101
イギリス・ポンド	8,630,271	-	8,830,886	200,615
オーストラリア・ドル	4,596,320	-	4,559,455	36,865
カナダ・ドル	8,820,181	-	8,868,113	47,932
ユーロ	3,094,870	-	3,150,930	56,060
買建	20,386,278	-	20,849,930	463,652
イギリス・ポンド	8,492,796	-	8,830,886	338,090
カナダ・ドル	8,732,751	-	8,868,114	135,363
ユーロ	3,160,731	-	3,150,930	9,801
合計	54,774,773	-	55,437,066	265,011

種類	第4期中間計算期間末 2022年7月11日現在			
	契約額等(円)		時価(円)	評価損益(円)
		うち 1年超		
市場取引以外の取引 為替予約取引				
売建	187,975,413	-	191,010,255	3,034,842
アメリカ・ドル	7,553,383	-	8,004,444	451,061
イギリス・ポンド	67,092,724	-	68,233,929	1,141,205
オーストラリア・ドル	60,750,628	-	60,947,650	197,022
カナダ・ドル	14,928,329	-	15,625,439	697,110
ユーロ	37,650,349	-	38,198,793	548,444
買建	31,654,338	-	31,275,769	378,569
アメリカ・ドル	7,971,762	-	8,004,444	32,682
ユーロ	23,682,576	-	23,271,325	411,251
合計	219,629,751	-	222,286,024	3,413,411

(注) 時価の算定方法

為替予約取引

1. 計算日に対顧客先物売買相場の仲値が発表されている外貨については、以下のように評価しております。

計算日において為替予約の受渡日の対顧客先物売買相場の仲値が発表されている場合は、当該為替予約は当該仲値で評価しております。

計算日において為替予約の受渡日の対顧客先物売買相場の仲値が発表されていない場合は、以下の方法によっております。

・計算日に為替予約の受渡日を超える対顧客先物売買相場が発表されている場合には、発表されている先物相場のうち当該日に最も近い前後二つの先物相場の仲値をもとに計算しております。

・計算日に為替予約の受渡日を超える対顧客先物売買相場が発表されていない場合には、当該日に最も近い発表されている対顧客先物売買相場の仲値を用いております。

2. 計算日に対顧客先物売買相場の仲値が発表されていない外貨については、計算日の対顧客電信売買相場の仲値で評価しております。

3. 換算において円未満の端数は切捨てております。

上記取引で、ヘッジ会計が適用されているものはありません。

(1口当たり情報に関する注記)

	第3期 2022年1月11日現在	第4期中間計算期間末 2022年7月11日現在
1口当たり純資産額	1,1159円	1,0406円
(1万口当たり純資産額)	(11,159円)	(10,406円)

【投資のソムリエ(ターゲット・イヤー2050)】

(1)【中間貸借対照表】

(単位:円)

	第3期 2022年1月11日現在	第4期中間計算期間末 2022年7月11日現在
資産の部		
流動資産		
コール・ローン	10,194,670	24,145,001
親投資信託受益証券	368,257,748	675,291,548
派生商品評価勘定	124,645	251,393
流動資産合計	378,577,063	699,687,942
負債の部		
流動負債		
派生商品評価勘定	71,124	2,853,357
未払解約金	318,725	-
未払受託者報酬	44,858	77,999
未払委託者報酬	1,197,513	2,081,191
その他未払費用	5,246	9,178
流動負債合計	1,637,466	5,021,725
負債合計	1,637,466	5,021,725
純資産の部		
元本等		
元本	337,375,506	666,584,241
剰余金		
中間剰余金又は中間欠損金()	39,564,091	28,081,976
(分配準備積立金)	10,327,520	9,757,000
元本等合計	376,939,597	694,666,217
純資産合計	376,939,597	694,666,217
負債純資産合計	378,577,063	699,687,942

(2) 【中間損益及び剰余金計算書】

(単位:円)

	第3期中間計算期間 自 2021年1月13日 至 2021年7月12日	第4期中間計算期間 自 2022年1月12日 至 2022年7月11日
営業収益		
受取利息	-	74
有価証券売買等損益	9,138,865	24,966,200
為替差損益	2,160,135	3,635,255
営業収益合計	6,978,730	28,601,381
営業費用		
支払利息	320	1,631
受託者報酬	23,048	77,999
委託者報酬	615,821	2,081,191
その他費用	2,642	9,178
営業費用合計	641,831	2,169,999
営業利益又は営業損失()	6,336,899	30,771,380
経常利益又は経常損失()	6,336,899	30,771,380
中間純利益又は中間純損失()	6,336,899	30,771,380
一部解約に伴う中間純利益金額の分配額又は一部解約に伴う中間純損失金額の分配額()	107,237	964,208
期首剰余金又は期首欠損金()	5,418,247	39,564,091
剰余金増加額又は欠損金減少額	9,112,776	20,941,059
中間一部解約に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	-	-
中間追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	9,112,776	20,941,059
剰余金減少額又は欠損金増加額	636,458	2,616,002
中間一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	636,458	2,616,002
中間追加信託に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	-	-
分配金	-	-
中間剰余金又は中間欠損金()	20,124,227	28,081,976

(3)【中間注記表】

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

項目	第4期中間計算期間	
	自	至
	2022年1月12日	2022年7月11日
1. 有価証券の評価基準及び評価方法	親投資信託受益証券 移動平均法に基づき、原則として時価で評価しております。時価評価にあたっては、親投資信託受益証券の基準価額に基づいて評価しております。	
2. デリバティブ等の評価基準及び評価方法	為替予約取引 原則として、わが国における計算日の対顧客先物売買相場の仲値によって計算しております。	

(中間貸借対照表に関する注記)

項目	第3期	第4期中間計算期間末
	2022年1月11日現在	2022年7月11日現在
1. 期首元本額	91,903,011円	337,375,506円
期中追加設定元本額	276,898,986円	353,619,770円
期中一部解約元本額	31,426,491円	24,411,035円
2. 受益権の総数	337,375,506口	666,584,241口

(中間損益及び剰余金計算書に関する注記)

該当事項はありません。

(金融商品に関する注記)

金融商品の時価等に関する事項

項目	第3期	第4期中間計算期間末
	2022年1月11日現在	2022年7月11日現在
1. 中間貸借対照表計上額、時価及びその差額	貸借対照表上の金融商品は原則としてすべて時価で評価しているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。	中間貸借対照表上の金融商品は原則としてすべて時価で評価しているため、中間貸借対照表計上額と時価との差額はありません。
2. 時価の算定方法	(1)有価証券 「(重要な会計方針に係る事項に関する注記)」にて記載しております。 (2)デリバティブ取引 「(デリバティブ取引等に関する注記)」にて記載しております。 (3)上記以外の金融商品 上記以外の金融商品(コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務)は短期間で決済されるため、帳簿価額は時価と近似していることから、当該帳簿価額を時価としております。	同左

3. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。また、デリバティブ取引に関する契約額等は、あくまでもデリバティブ取引における名目的な契約額であり、当該金額自体がデリバティブ取引のリスクの大きさを示すものではありません。	金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。また、デリバティブ取引に関する契約額等は、あくまでもデリバティブ取引における名目的な契約額であり、当該金額自体がデリバティブ取引のリスクの大きさを示すものではありません。
----------------------------	--	---

(デリバティブ取引等に関する注記)

通貨関連

種類	第3期 2022年1月11日現在			
	契約額等(円)		時価(円)	評価損益(円)
		うち 1年超		
市場取引以外の取引 為替予約取引				
売建	11,700,826	-	11,711,770	10,944
アメリカ・ドル	3,845,111	-	3,816,377	28,734
イギリス・ポンド	1,543,326	-	1,581,416	38,090
オーストラリア・ドル	1,901,422	-	1,890,100	11,322
カナダ・ドル	2,854,309	-	2,868,024	13,715
ユーロ	1,556,658	-	1,555,853	805
買建	5,940,829	-	6,005,294	64,465
イギリス・ポンド	1,588,093	-	1,581,417	6,676
カナダ・ドル	2,792,043	-	2,868,024	75,981
ユーロ	1,560,693	-	1,555,853	4,840
合計	17,641,655	-	17,717,064	53,521

種類	第4期中間計算期間末 2022年7月11日現在			
	契約額等(円)		時価(円)	評価損益(円)
		うち 1年超		
市場取引以外の取引 為替予約取引				
売建	104,709,611	-	107,222,984	2,513,373
アメリカ・ドル	3,237,164	-	3,430,476	193,312
イギリス・ポンド	43,874,284	-	45,183,916	1,309,632
オーストラリア・ドル	33,365,171	-	33,841,175	476,004
カナダ・ドル	7,039,844	-	7,345,110	305,266
ユーロ	17,193,148	-	17,422,307	229,159
買建	39,787,132	-	39,698,541	88,591
アメリカ・ドル	3,416,469	-	3,430,476	14,007
イギリス・ポンド	21,457,805	-	21,512,255	54,450
オーストラリア・ドル	6,714,853	-	6,762,646	47,793

カナダ・ドル	579,108	-	577,941	1,167
ユーロ	7,618,897	-	7,415,223	203,674
合計	144,496,743	-	146,921,525	2,601,964

(注) 時価の算定方法

為替予約取引

1. 計算日に対顧客先物売買相場の仲値が発表されている外貨については、以下のように評価しております。

計算日において為替予約の受渡日の対顧客先物売買相場の仲値が発表されている場合は、当該為替予約は当該仲値で評価しております。

計算日において為替予約の受渡日の対顧客先物売買相場の仲値が発表されていない場合は、以下の方法によっております。

・計算日に為替予約の受渡日を超える対顧客先物売買相場が発表されている場合には、発表されている先物相場のうち当該日に最も近い前後二つの先物相場の仲値をもとに計算しております。

・計算日に為替予約の受渡日を超える対顧客先物売買相場が発表されていない場合には、当該日に最も近い発表されている対顧客先物売買相場の仲値を用いております。

2. 計算日に対顧客先物売買相場の仲値が発表されていない外貨については、計算日の対顧客電信売買相場の仲値で評価しております。

3. 換算において円未満の端数は切捨てております。

上記取引で、ヘッジ会計が適用されているものではありません。

(1口当たり情報に関する注記)

	第3期 2022年1月11日現在	第4期中間計算期間末 2022年7月11日現在
1口当たり純資産額	1.1173円	1.0421円
(1万口当たり純資産額)	(11,173円)	(10,421円)

【投資のソムリエ(ターゲット・イヤー2060)】

(1)【中間貸借対照表】

(単位:円)

	第3期 2022年1月11日現在	第4期中間計算期間末 2022年7月11日現在
資産の部		
流動資産		
コール・ローン	10,728,896	13,628,640
親投資信託受益証券	314,549,108	436,239,320
派生商品評価勘定	101,313	164,561
流動資産合計	325,379,317	450,032,521
負債の部		
流動負債		
派生商品評価勘定	66,908	1,912,104
未払解約金	-	1,858,848
未払受託者報酬	36,558	58,279
未払委託者報酬	976,212	1,555,205
その他未払費用	4,243	6,816
流動負債合計	1,083,921	5,391,252
負債合計	1,083,921	5,391,252
純資産の部		
元本等		
元本	291,077,733	428,157,577
剰余金		
中間剰余金又は中間欠損金()	33,217,663	16,483,692
(分配準備積立金)	8,340,748	7,264,308
元本等合計	324,295,396	444,641,269
純資産合計	324,295,396	444,641,269
負債純資産合計	325,379,317	450,032,521

(2)【中間損益及び剰余金計算書】

(単位:円)

	第3期中間計算期間 自 2021年1月13日 至 2021年7月12日	第4期中間計算期間 自 2022年1月12日 至 2022年7月11日
営業収益		
受取利息	-	47
有価証券売買等損益	9,307,174	19,879,788
為替差損益	2,146,234	2,617,134
営業収益合計	7,160,940	22,496,875
営業費用		
支払利息	315	1,071
受託者報酬	22,954	58,279
委託者報酬	613,262	1,555,205
その他費用	2,648	6,816
営業費用合計	639,179	1,621,371
営業利益又は営業損失()	6,521,761	24,118,246
経常利益又は経常損失()	6,521,761	24,118,246
中間純利益又は中間純損失()	6,521,761	24,118,246
一部解約に伴う中間純利益金額の分配額又は一部解約に伴う中間純損失金額の分配額()	907,732	1,824,510
期首剰余金又は期首欠損金()	5,095,843	33,217,663
剰余金増加額又は欠損金減少額	8,507,524	10,358,442
中間一部解約に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	-	-
中間追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	8,507,524	10,358,442
剰余金減少額又は欠損金増加額	2,602,949	4,798,677
中間一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	2,602,949	4,798,677
中間追加信託に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	-	-
分配金	-	-
中間剰余金又は中間欠損金()	16,614,447	16,483,692

(3)【中間注記表】

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

項目	第4期中間計算期間	
	自 2022年1月12日	至 2022年7月11日
1. 有価証券の評価基準及び評価方法	親投資信託受益証券 移動平均法に基づき、原則として時価で評価しております。時価評価にあたっては、親投資信託受益証券の基準価額に基づいて評価しております。	
2. デリバティブ等の評価基準及び評価方法	為替予約取引 原則として、わが国における計算日の対顧客先物売買相場の仲値によって計算しております。	

(中間貸借対照表に関する注記)

項目	第3期	第4期中間計算期間末
	2022年1月11日現在	2022年7月11日現在
1. 期首元本額	91,071,003円	291,077,733円
期中追加設定元本額	269,230,751円	181,699,663円
期中一部解約元本額	69,224,021円	44,619,819円
2. 受益権の総数	291,077,733口	428,157,577口

(中間損益及び剰余金計算書に関する注記)

該当事項はありません。

(金融商品に関する注記)

金融商品の時価等に関する事項

項目	第3期	第4期中間計算期間末
	2022年1月11日現在	2022年7月11日現在
1. 中間貸借対照表計上額、時価及びその差額	貸借対照表上の金融商品は原則としてすべて時価で評価しているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。	中間貸借対照表上の金融商品は原則としてすべて時価で評価しているため、中間貸借対照表計上額と時価との差額はありません。
2. 時価の算定方法	(1)有価証券 「(重要な会計方針に係る事項に関する注記)」にて記載しております。 (2)デリバティブ取引 「(デリバティブ取引等に関する注記)」にて記載しております。 (3)上記以外の金融商品 上記以外の金融商品(コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務)は短期間で決済されるため、帳簿価額は時価と近似していることから、当該帳簿価額を時価としております。	同左

3. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。また、デリバティブ取引に関する契約額等は、あくまでもデリバティブ取引における名目的な契約額であり、当該金額自体がデリバティブ取引のリスクの大きさを示すものではありません。	金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。また、デリバティブ取引に関する契約額等は、あくまでもデリバティブ取引における名目的な契約額であり、当該金額自体がデリバティブ取引のリスクの大きさを示すものではありません。
----------------------------	--	---

(デリバティブ取引等に関する注記)

通貨関連

種類	第3期 2022年1月11日現在			
	契約額等(円)		時価(円)	評価損益(円)
		うち 1年超		
市場取引以外の取引 為替予約取引				
売建	9,870,522	-	9,886,896	16,374
アメリカ・ドル	3,275,895	-	3,251,414	24,481
イギリス・ポンド	1,342,705	-	1,377,868	35,163
オーストラリア・ドル	1,623,187	-	1,616,533	6,654
カナダ・ドル	2,283,447	-	2,294,419	10,972
ユーロ	1,345,288	-	1,346,662	1,374
買建	4,968,171	-	5,018,950	50,779
イギリス・ポンド	1,383,685	-	1,377,868	5,817
カナダ・ドル	2,233,634	-	2,294,419	60,785
ユーロ	1,350,852	-	1,346,663	4,189
合計	14,838,693	-	14,905,846	34,405

種類	第4期中間計算期間末 2022年7月11日現在			
	契約額等(円)		時価(円)	評価損益(円)
		うち 1年超		
市場取引以外の取引 為替予約取引				
売建	68,706,092	-	70,388,223	1,682,131
アメリカ・ドル	2,132,417	-	2,259,758	127,341
イギリス・ポンド	28,921,113	-	29,806,333	885,220
オーストラリア・ドル	21,656,130	-	21,973,942	317,812
カナダ・ドル	4,642,917	-	4,844,201	201,284
ユーロ	11,353,515	-	11,503,989	150,474
買建	26,785,338	-	26,719,926	65,412
アメリカ・ドル	2,250,531	-	2,259,758	9,227
イギリス・ポンド	14,461,211	-	14,494,188	32,977
オーストラリア・ドル	4,430,323	-	4,461,856	31,533

カナダ・ドル	473,816	-	472,861	955
ユーロ	5,169,457	-	5,031,263	138,194
合計	95,491,430	-	97,108,149	1,747,543

(注) 時価の算定方法

為替予約取引

1. 計算日に対顧客先物売買相場の仲値が発表されている外貨については、以下のように評価しております。

計算日において為替予約の受渡日の対顧客先物売買相場の仲値が発表されている場合は、当該為替予約は当該仲値で評価しております。

計算日において為替予約の受渡日の対顧客先物売買相場の仲値が発表されていない場合は、以下の方法によっております。

・計算日に為替予約の受渡日を超える対顧客先物売買相場が発表されている場合には、発表されている先物相場のうち当該日に最も近い前後二つの先物相場の仲値をもとに計算しております。

・計算日に為替予約の受渡日を超える対顧客先物売買相場が発表されていない場合には、当該日に最も近い発表されている対顧客先物売買相場の仲値を用いております。

2. 計算日に対顧客先物売買相場の仲値が発表されていない外貨については、計算日の対顧客電信売買相場の仲値で評価しております。

3. 換算において円未満の端数は切捨てております。

上記取引で、ヘッジ会計が適用されているものではありません。

(1口当たり情報に関する注記)

	第3期 2022年1月11日現在	第4期中間計算期間末 2022年7月11日現在
1口当たり純資産額 (1万口当たり純資産額)	1.1141円 (11,141円)	1.0385円 (10,385円)

(参考)

「投資のソムリエ(ターゲット・イヤー2040)」、「投資のソムリエ(ターゲット・イヤー2050)」、「投資のソムリエ(ターゲット・イヤー2060)」は、「国内債券パッシブ・ファンド・マザーファンド」受益証券、「国内株式パッシブ・ファンド(最適化法)・マザーファンド」受益証券、「為替フルヘッジ外国債券パッシブ・ファンド・マザーファンド」受益証券、「外国株式パッシブ・ファンド・マザーファンド」受益証券、「J-REITインデックスファンド・マザーファンド」受益証券、「外国リート・パッシブ・ファンド・マザーファンド」受益証券、「エマージング債券パッシブ・マザーファンド」受益証券及び「エマージング株式パッシブ・マザーファンド」受益証券を主要投資対象としており、中間貸借対照表の資産の部に計上された「親投資信託受益証券」は、すべて同親投資信託の受益証券であります。

同親投資信託の状況は以下の通りであります。

なお、以下に記載した状況は監査の対象外となっております。

国内債券パッシブ・ファンド・マザーファンド

貸借対照表

(単位:円)

2022年7月11日現在

資産の部	
流動資産	
コール・ローン	2,372,535,579
国債証券	454,144,467,200
地方債証券	33,087,965,922
特殊債証券	30,973,035,370
社債証券	26,778,809,650
未収利息	655,856,826
前払費用	97,860,070
流動資産合計	548,110,530,617
資産合計	
548,110,530,617	
負債の部	
流動負債	
未払金	1,023,970,000
未払解約金	393,594,000
流動負債合計	1,417,564,000
負債合計	
1,417,564,000	
純資産の部	
元本等	
元本	431,250,768,086
剰余金	
剰余金又は欠損金()	115,442,198,531
元本等合計	546,692,966,617
純資産合計	546,692,966,617
負債純資産合計	548,110,530,617

注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

項目	自 2022年1月12日 至 2022年7月11日
1. 有価証券の評価基準及び評価方法	国債証券、地方債証券、特殊債券及び社債券 個別法に基づき、原則として時価で評価しております。時価評価にあたっては、金融商品取引業者、銀行等の提示する価額(但し、売気配相場は使用しない)、価格情報会社の提供する価額又は日本証券業協会発表の売買参考統計値(平均値)等で評価しております。

(貸借対照表に関する注記)

項目	2022年7月11日現在
1. 本報告書における開示対象ファンドの期首における当該親投資信託の元本額	369,783,791,323円
同期中追加設定元本額	493,309,167,217円
同期中一部解約元本額	431,842,190,454円
元本の内訳	
ファンド名	
D I A M国内債券パッシブ・ファンド	25,264,432,904円
M I T O ラップ型ファンド(安定型)	144,506,421円
M I T O ラップ型ファンド(中立型)	171,180,466円
M I T O ラップ型ファンド(積極型)	168,666,978円
グローバル8資産ラップファンド(安定型)	693,499,823円
グローバル8資産ラップファンド(中立型)	121,711,577円
グローバル8資産ラップファンド(積極型)	39,150,352円
たわらノーロード 国内債券	16,516,684,943円
たわらノーロード バランス(8資産均等型)	3,014,989,472円
たわらノーロード バランス(堅実型)	1,018,092,960円
たわらノーロード バランス(標準型)	1,752,354,814円
たわらノーロード バランス(積極型)	221,488,318円
たわらノーロード スマートグローバルバランス(保守型)	85,577,098円
たわらノーロード スマートグローバルバランス(安定型)	1,383,542,862円
たわらノーロード スマートグローバルバランス(安定成長型)	1,336,534,110円
たわらノーロード スマートグローバルバランス(成長型)	357,609,924円
たわらノーロード スマートグローバルバランス(積極型)	24,662,096円
たわらノーロード 最適化バランス(保守型)	21,803,103円
たわらノーロード 最適化バランス(安定型)	16,817,181円
たわらノーロード 最適化バランス(安定成長型)	125,823,985円
たわらノーロード 最適化バランス(成長型)	5,523,423円
たわらノーロード 最適化バランス(積極型)	923,956円
D I A M国内債券インデックスファンド<DC年金>	14,032,383,543円
O n eグローバルバランス	17,808,635円
D I A Mバランス・ファンド<DC年金> 1安定型	9,227,290,367円
D I A Mバランス・ファンド<DC年金> 2安定・成長型	12,888,421,041円
D I A Mバランス・ファンド<DC年金> 3成長型	5,388,646,153円
D I A M DC バランス30インデックスファンド	2,264,399,775円
D I A M DC バランス50インデックスファンド	2,375,705,239円
D I A M DC バランス70インデックスファンド	396,917,591円
マネックス資産設計ファンド<隔月分配型>	99,738,983円
マネックス資産設計ファンド<育成型>	3,458,241,431円
マネックス資産設計ファンド エボリューション	13,441,521円
D I A M DC 8資産バランスファンド(新興国10)	4,395,796,576円

D I A M D C 8資産バランスファンド(新興国20)	1,839,412,609円
D I A M D C 8資産バランスファンド(新興国30)	357,921,860円
投資のソムリエ	76,807,333,513円
クルーズコントロール	177,481,406円
投資のソムリエ<DC年金>	4,916,929,409円
D I A M 8資産バランスファンドN<DC年金>	5,201,632,701円
4資産分散投資・ハイクラス<DC年金>	1,047,038,736円
投資のソムリエ<DC年金>リスク抑制型	5,234,220,205円
リスク抑制世界8資産バランスファンド	26,136,123,900円
投資のソムリエ(ターゲット・イヤー2045)	115,666,757円
投資のソムリエ(ターゲット・イヤー2055)	57,037,054円
リスク抑制世界8資産バランスファンド(DC)	33,906,292円
投資のソムリエ(ターゲット・イヤー2035)	827,207,272円
4資産分散投資・スタンダード<DC年金>	2,977,383,603円
リスクコントロール世界資産分散ファンド	3,496,976,258円
9資産分散投資・スタンダード<DC年金>	5,121,296,882円
投資のソムリエ(ターゲット・イヤー2040)	186,641,235円
投資のソムリエ(ターゲット・イヤー2050)	59,560,755円
投資のソムリエ(ターゲット・イヤー2060)	38,467,682円
4資産分散投資・ミドルクラス<DC年金>	802,042,844円
投資のソムリエ(ターゲット・イヤー2065)	7,132,408円
D I A Mエマージング債券ファンド	9,450,010円
インカム重視マルチアセット運用ファンド2019-12(適格機関投資家限定)	1,959,324,767円
インカム重視マルチアセット運用ファンド2020-06(適格機関投資家限定)	2,008,176,617円
マルチアセット・インカム戦略ファンド20-08(適格機関投資家限定)	1,515,112,654円
インカム重視マルチアセット運用ファンド2020-09(適格機関投資家限定)	1,220,625,001円
インカム重視マルチアセット運用ファンド2021-03(適格機関投資家限定)	1,927,972,644円
インカム重視マルチアセット運用ファンド 2021-04(適格機関投資家限定)	4,984,372,557円
マルチアセット・インカム戦略ファンド(内外株式債券型・シグナルヘッジ付き)2021-06(適格機関投資家限定)	1,904,695,012円
インカム重視マルチアセット運用ファンド2021-09(適格機関投資家限定)	1,739,423,266円
マルチアセット・インカム戦略ファンド(内外株式債券型・シグナルヘッジ付き)2022-05(適格機関投資家限定)	1,952,801,514円
D I A M国内債券パッシブファンド(適格機関投資家向け)	9,129,705,040円
O n eコアポートフォリオ戦略ファンド(適格機関投資家限定)	2,249,449,034円
投資のソムリエ・私募(適格機関投資家限定)	1,262,641,605円
A M O n eマルチアセット・インカム戦略ファンド(シグナルヘッジ付き)(適格機関投資家限定)	578,473,582円
D I A Mワールドバランス25VA(適格機関投資家限定)	275,698,020円
O n e収益追求型マルチアセット戦略ファンド(適格機関投資家限定)	4,870,266,482円
O n e収益追求型マルチアセット戦略ファンド(適格機関投資家限定)	4,881,603,781円
O n e収益追求型マルチアセット戦略ファンド(適格機関投資家限定)	4,838,160,658円
インカム重視マルチアセット運用ファンド(適格機関投資家限定)	3,329,872,504円

リスクコントロール世界8資産バランスファンド(FOFs用)(適格機関投資家専用)	58,570,237円
AMOneコアポートフォリオ・プラス戦略ファンド(適格機関投資家限定)	355,417,457円
しあわせの一步・私募(適格機関投資家限定)	41,466,695円
DIAMグローバル・バランスファンド25VA(適格機関投資家限定)	153,696,897円
DIAMグローバル・バランスファンド50VA(適格機関投資家限定)	97,973,989円
DIAM国際分散バランスファンド30VA(適格機関投資家限定)	24,506,692円
DIAM国際分散バランスファンド50VA(適格機関投資家限定)	95,245,916円
DIAM国内重視バランスファンド30VA(適格機関投資家限定)	34,402,964円
DIAM国内重視バランスファンド50VA(適格機関投資家限定)	2,199,802円
DIAM世界バランスファンド40VA(適格機関投資家限定)	26,198,419円
DIAM世界バランスファンド50VA(適格機関投資家限定)	109,158,817円
DIAMバランスファンド25VA(適格機関投資家限定)	3,411,976,440円
DIAMバランスファンド37.5VA(適格機関投資家限定)	2,230,124,821円
DIAMバランスファンド50VA(適格機関投資家限定)	4,303,160,988円
DIAMグローバル・アセット・バランスVA(適格機関投資家限定)	77,111,106円
DIAMグローバル・アセット・バランスVA2(適格機関投資家限定)	160,951,134円
DIAM アクサ グローバル バランスファンド30VA(適格機関投資家限定)	2,024,349,779円
DIAM世界アセットバランスファンドVA(適格機関投資家向け)	164,327,606円
DIAM世界バランスファンド55VA(適格機関投資家限定)	3,678,058円
DIAM世界アセットバランスファンド2VA(適格機関投資家限定)	2,125,697,035円
DIAM世界アセットバランスファンド40VA(適格機関投資家限定)	48,691,504円
DIAM世界アセットバランスファンド25VA(適格機関投資家限定)	332,284,574円
DIAM世界アセットバランスファンド3VA(適格機関投資家限定)	515,826,747円
DIAM世界アセットバランスファンド4VA(適格機関投資家限定)	912,489,078円
DIAM世界バランス25VA(適格機関投資家限定)	283,326,751円
DIAM国内バランス30VA(適格機関投資家限定)	98,033,272円
コアサテライト戦略ファンド(適格機関投資家限定)	935,002,540円
動的パッケージファンド<DC年金>	467,056,693円
コア資産形成ファンド	309,125,535円
MHAM日本債券インデックスファンド(ファンドラップ)	39,869,562,667円
MHAM動的パッケージファンド[適格機関投資家限定]	63,455,521,258円
MHAM日本債券パッシブファンド[適格機関投資家限定]	13,209,256,957円
MHAM動的パッケージ4資産ファンド[適格機関投資家限定]	2,190,769,908円
計	431,250,768,086円
2. 受益権の総数	431,250,768,086口

(金融商品に関する注記)

金融商品の時価等に関する事項

項目	2022年7月11日現在
1. 貸借対照表計上額、時価及びその差額	貸借対照表上の金融商品は原則としてすべて時価で評価しているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。

2. 時価の算定方法	<p>(1)有価証券 「(重要な会計方針に係る事項に関する注記)」にて記載しております。</p> <p>(2)デリバティブ取引 該当事項はありません。</p> <p>(3)上記以外の金融商品 上記以外の金融商品(コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務)は短期間で決済されるため、帳簿価額は時価と近似していることから、当該帳簿価額を時価としております。</p>
3. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。

(デリバティブ取引等に関する注記)

該当事項はありません。

(1口当たり情報に関する注記)

2022年7月11日現在	
1口当たり純資産額	1.2677円
(1万口当たり純資産額)	(12,677円)

国内株式パッシブ・ファンド(最適化法)・マザーファンド

貸借対照表

(単位:円)

2022年7月11日現在

資産の部	
流動資産	
コール・ローン	12,930,858,741
株式	435,590,889,830
派生商品評価勘定	74,970,950
未収入金	106,045,000
未収配当金	536,474,159
前払金	263,780,000
差入委託証拠金	571,605,000
流動資産合計	450,074,623,680
資産合計	
450,074,623,680	
負債の部	
流動負債	
派生商品評価勘定	258,483,450
未払解約金	587,698,000
流動負債合計	846,181,450
負債合計	
846,181,450	
純資産の部	
元本等	
元本	139,705,613,956
剰余金	
剰余金又は欠損金()	309,522,828,274
元本等合計	449,228,442,230
純資産合計	449,228,442,230
負債純資産合計	450,074,623,680

注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

項目	自 2022年1月12日 至 2022年7月11日
1. 有価証券の評価基準及び評価方法	株式 移動平均法に基づき、原則として時価で評価しております。時価評価にあたっては、金融商品取引所等における最終相場（最終相場のないものについては、それに準ずる価額）、又は金融商品取引業者等から提示される気配相場に基づいて評価しております。
2. デリバティブ等の評価基準及び評価方法	先物取引 個別法に基づき、原則として時価で評価しております。時価評価にあたっては、原則として、計算日に知りうる直近の日の主たる金融商品取引所等の発表する清算値段又は最終相場によっております。
3. 収益及び費用の計上基準	受取配当金 原則として、配当落ち日において、確定配当金額又は予想配当金額を計上しております。

(貸借対照表に関する注記)

項目	2022年7月11日現在
1. 本報告書における開示対象ファンドの期首における当該親投資信託の元本額	140,692,906,135円
同期中追加設定元本額	106,841,504,984円
同期中一部解約元本額	107,828,797,163円
元本の内訳	
ファンド名	
MHAMスリーウェイオープン	561,857,238円
MHAM TOPIXオープン	2,659,409,813円
MHAM日本株式インデックスファンド(ファンドラップ)	6,957,173,870円
One DC 国内株式インデックスファンド	22,210,267,920円
DIAM国内株式パッシブ・ファンド	4,809,635,550円
MITO ラップ型ファンド(安定型)	5,435,386円
MITO ラップ型ファンド(中立型)	24,679,595円
MITO ラップ型ファンド(積極型)	102,754,930円
グローバル8資産ラップファンド(安定型)	26,084,933円
グローバル8資産ラップファンド(中立型)	17,669,431円
グローバル8資産ラップファンド(積極型)	24,101,980円
たわらノーロード TOPIX	1,486,350,150円
たわらノーロード バランス(8資産均等型)	1,268,161,902円
たわらノーロード バランス(堅実型)	46,604,271円
たわらノーロード バランス(標準型)	301,730,608円
たわらノーロード バランス(積極型)	466,620,741円
たわらノーロード スマートグローバルバランス(保守型)	4,028,000円
たわらノーロード スマートグローバルバランス(安定型)	176,520,070円
たわらノーロード スマートグローバルバランス(安定成長型)	458,166,657円
たわらノーロード スマートグローバルバランス(成長型)	305,971,882円
たわらノーロード スマートグローバルバランス(積極型)	438,584,671円
たわらノーロード 最適化バランス(保守型)	651,634円
たわらノーロード 最適化バランス(安定型)	2,768,549円
たわらノーロード 最適化バランス(安定成長型)	40,050,065円
たわらノーロード 最適化バランス(成長型)	5,355,907円

たわらノーロード 最適化バランス(積極型)	16,443,612円
DIAM国内株式インデックスファンド<DC年金>	34,076,242,527円
Oneグローバルバランス	3,247,029円
DIAMバランス・ファンド<DC年金>1安定型	1,083,199,007円
DIAMバランス・ファンド<DC年金>2安定・成長型	3,602,824,724円
DIAMバランス・ファンド<DC年金>3成長型	3,922,277,614円
DIAM DC バランス30インデックスファンド	348,554,050円
DIAM DC バランス50インデックスファンド	1,111,886,633円
DIAM DC バランス70インデックスファンド	1,141,134,215円
マネックス資産設計ファンド<隔月分配型>	32,407,197円
マネックス資産設計ファンド<育成型>	1,124,324,214円
マネックス資産設計ファンド エボリューション	15,484,653円
DIAM DC 8資産バランスファンド(新興国10)	309,475,685円
DIAM DC 8資産バランスファンド(新興国20)	353,939,195円
DIAM DC 8資産バランスファンド(新興国30)	572,826,935円
投資のソムリエ	22,853,714,171円
クルーズコントロール	71,457,276円
投資のソムリエ<DC年金>	1,463,149,876円
DIAM 8資産バランスファンドN<DC年金>	363,843,028円
4資産分散投資・ハイクラス<DC年金>	764,081,030円
投資のソムリエ<DC年金>リスク抑制型	1,747,258,747円
リスク抑制世界8資産バランスファンド	8,705,209,065円
投資のソムリエ(ターゲット・イヤー2045)	68,885,176円
投資のソムリエ(ターゲット・イヤー2055)	33,968,159円
リスク抑制世界8資産バランスファンド(DC)	11,304,075円
投資のソムリエ(ターゲット・イヤー2035)	232,383,465円
4資産分散投資・スタンダード<DC年金>	465,532,749円
リスクコントロール世界資産分散ファンド	746,062,166円
9資産分散投資・スタンダード<DC年金>	274,918,680円
投資のソムリエ(ターゲット・イヤー2040)	83,979,433円
投資のソムリエ(ターゲット・イヤー2050)	35,473,900円
投資のソムリエ(ターゲット・イヤー2060)	22,908,967円
4資産分散投資・ミドルクラス<DC年金>	263,134,542円
投資のソムリエ(ターゲット・イヤー2065)	4,245,423円
インカム重視マルチアセット運用ファンド2019-12(適格機関投資家限定)	1,633,209円
インカム重視マルチアセット運用ファンド2020-06(適格機関投資家限定)	1,849,695円
マルチアセット・インカム戦略ファンド20-08(適格機関投資家限定)	18,324,166円
インカム重視マルチアセット運用ファンド2020-09(適格機関投資家限定)	957,717円
インカム重視マルチアセット運用ファンド2021-03(適格機関投資家限定)	1,603,280円
インカム重視マルチアセット運用ファンド 2021-04(適格機関投資家限定)	3,412,877円
マルチアセット・インカム戦略ファンド(シグナルヘッジ付き)2021-05(適格機関投資家限定)	26,024,170円
マルチアセット・インカム戦略ファンド(内外株式債券型・シグナルヘッジ付き)2021-06(適格機関投資家限定)	75,659,911円
マルチアセット・インカム戦略ファンド(シグナルヘッジ付き)2021-07(適格機関投資家限定)	42,989,467円

マルチアセット・インカム戦略ファンド(シグナルヘッジ付き)2021-08(適格機関投資家限定)	30,101,921円
インカム重視マルチアセット運用ファンド2021-09(適格機関投資家限定)	1,577,966円
マルチアセット・インカム戦略ファンド(シグナルヘッジ付き)2021-09(適格機関投資家限定)	29,918,418円
マルチアセット・インカム戦略ファンド(シグナルヘッジ付き)2021-12(適格機関投資家限定)	43,153,368円
マルチアセット・インカム戦略ファンド(内外株式債券型・シグナルヘッジ付き)2022-05(適格機関投資家限定)	71,915,215円
投資のソムリエ・私募(適格機関投資家限定)	563,092,043円
AMOneマルチアセット・インカム戦略ファンド(シグナルヘッジ付き)(適格機関投資家限定)	5,396,850円
DIAMワールドバランス25VA(適格機関投資家限定)	33,880,137円
日米資産配分戦略ファンド(インカム重視型)(為替ヘッジあり)(適格機関投資家限定)	222,232,094円
インカム重視マルチアセット運用ファンド(適格機関投資家限定)	2,983,707円
リスクコントロール世界8資産バランスファンド(FOFs用)(適格機関投資家専用)	26,190,448円
しあわせの一步・私募(適格機関投資家限定)	22,874,004円
DIAMグローバル・バランスファンド25VA(適格機関投資家限定)	51,726,382円
DIAMグローバル・バランスファンド50VA(適格機関投資家限定)	98,913,740円
DIAM国際分散バランスファンド30VA(適格機関投資家限定)	4,236,708円
DIAM国際分散バランスファンド50VA(適格機関投資家限定)	25,652,559円
DIAM国内重視バランスファンド30VA(適格機関投資家限定)	5,552,069円
DIAM国内重視バランスファンド50VA(適格機関投資家限定)	665,531円
DIAM世界バランスファンド40VA(適格機関投資家限定)	7,047,448円
DIAM世界バランスファンド50VA(適格機関投資家限定)	29,361,126円
DIAMバランスファンド25VA(適格機関投資家限定)	516,768,088円
DIAMバランスファンド37.5VA(適格機関投資家限定)	600,618,725円
DIAMバランスファンド50VA(適格機関投資家限定)	1,738,629,025円
DIAMグローバル・アセット・バランスVA(適格機関投資家限定)	20,699,902円
DIAMグローバル・アセット・バランスVA2(適格機関投資家限定)	25,918,872円
DIAM アクサ グローバル バランスファンド30VA(適格機関投資家限定)	272,440,705円
DIAM世界アセットバランスファンドVA(適格機関投資家向け)	66,257,228円
DIAM世界バランスファンド55VA(適格機関投資家限定)	493,053円
DIAM世界アセットバランスファンド2VA(適格機関投資家限定)	321,823,413円
DIAM世界アセットバランスファンド40VA(適格機関投資家限定)	19,671,103円
DIAM世界アセットバランスファンド25VA(適格機関投資家限定)	67,087,779円
DIAM世界アセットバランスファンド3VA(適格機関投資家限定)	156,081,636円
DIAM世界アセットバランスファンド4VA(適格機関投資家限定)	220,856,342円
DIAM世界バランス25VA(適格機関投資家限定)	34,286,045円
DIAM国内バランス30VA(適格機関投資家限定)	16,966,224円
DIAM世界アセットバランスファンド7VA(1212)(適格機関投資家限定)	276,735,242円
DIAM世界アセットバランスファンド7VA(1303)(適格機関投資家限定)	952,517,403円

D I A M世界アセットバランスファンド7 V A (1 3 0 6) (適格機関投資家限定)	1,259,648,156円
D I A M世界アセットバランスファンド7 V A (1 3 0 9) (適格機関投資家限定)	50,256,155円
動的パッケージファンド< D C 年金 >	5,566,254円
コア資産形成ファンド	3,694,426円
M H A Mトピックスファンド	748,993,610円
M H A M T O P I XファンドV A (適格機関投資家専用)	59,948,461円
M H A M動的パッケージファンド [適格機関投資家限定]	773,101,621円
M H A M日本株式パッシブファンド [適格機関投資家限定]	1,721,215,291円
計	139,705,613,956円
2. 受益権の総数	139,705,613,956口

(金融商品に関する注記)

金融商品の時価等に関する事項

項目	2022年7月11日現在
1. 貸借対照表計上額、時価及びその差額	貸借対照表上の金融商品は原則としてすべて時価で評価しているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。
2. 時価の算定方法	(1)有価証券 「(重要な会計方針に係る事項に関する注記)」にて記載しております。 (2)デリバティブ取引 「(デリバティブ取引等に関する注記)」にて記載しております。 (3)上記以外の金融商品 上記以外の金融商品(コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務)は短時間で決済されるため、帳簿価額は時価と近似していることから、当該帳簿価額を時価としております。
3. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。また、デリバティブ取引に関する契約額等は、あくまでもデリバティブ取引における名目的な契約額であり、当該金額自体がデリバティブ取引のリスクの大きさを示すものではありません。

(デリバティブ取引等に関する注記)

株式関連

種類	2022年7月11日現在				
	契約額等(円)	うち		時価(円)	評価損益(円)
		1年超			
市場取引 先物取引 買建	14,478,265,000	-		14,295,000,000	183,265,000
合計	14,478,265,000	-		14,295,000,000	183,265,000

(注)時価の算定方法

株価指数先物取引

- 原則として計算日に知りうる直近の日の主たる取引所の発表する清算値段又は最終相場で評価しております。
- 先物取引の残高表示は、契約額によっております。
- 契約額等には手数料相当額を含んでおりません。
上記取引で、ヘッジ会計が適用されているものはありません。

(1口当たり情報に関する注記)

	2022年7月11日現在
1口当たり純資産額	3.2155円
(1万口当たり純資産額)	(32,155円)

為替フルヘッジ外国債券パッシブ・ファンド・マザーファンド
貸借対照表

(単位:円)

2022年7月11日現在

資産の部	
流動資産	
預金	1,539,122,811
コール・ローン	2,351,213,668
国債証券	375,356,171,561
派生商品評価勘定	3,513,588,025
未収入金	684,320
未収利息	1,500,141,196
前払費用	795,262,726
流動資産合計	385,056,184,307
資産合計	
385,056,184,307	
負債の部	
流動負債	
派生商品評価勘定	1,033,309,167
未払金	36,081,715
未払解約金	1,032,836,000
流動負債合計	2,102,226,882
負債合計	
2,102,226,882	
純資産の部	
元本等	
元本	300,821,408,398
剰余金	
剰余金又は欠損金()	82,132,549,027
元本等合計	382,953,957,425
純資産合計	
382,953,957,425	
負債純資産合計	
385,056,184,307	

注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

項目	自 2022年1月12日 至 2022年7月11日
1. 有価証券の評価基準及び評価方法	国債証券 個別法に基づき、原則として時価で評価しております。時価評価にあたっては、金融商品取引業者、銀行等の提示する価額（但し、売気配相場は使用しない）、価格情報会社の提供する価額又は日本証券業協会発表の売買参考統計値（平均値）等で評価しております。
2. デリバティブ等の評価基準及び評価方法	為替予約取引 原則として、わが国における計算日の対顧客先物売買相場の仲値によって計算しております。
3. その他財務諸表作成のための基礎となる事項	外貨建取引等の処理基準 外貨建資産及び負債は、計算日の対顧客電信売買相場の仲値により円貨に換算するほか、「投資信託財産の計算に関する規則」（平成12年総理府令第133号）第60条及び同第61条にしたがって換算しております。

(貸借対照表に関する注記)

項目	2022年7月11日現在
1. 本報告書における開示対象ファンドの期首における当該親投資信託の元本額	354,922,285,046円
同期中追加設定元本額	564,956,657,380円
同期中一部解約元本額	619,057,534,028円
元本の内訳	
ファンド名	
たわらノーロード 先進国債券<為替ヘッジあり>	8,035,222,519円
たわらノーロード バランス(堅実型)	938,575,631円
たわらノーロード バランス(標準型)	2,428,973,991円
たわらノーロード バランス(積極型)	1,146,908,436円
たわらノーロード スマートグローバルバランス(保守型)	53,281,292円
たわらノーロード スマートグローバルバランス(安定型)	1,506,801,548円
たわらノーロード スマートグローバルバランス(安定成長型)	1,866,367,222円
たわらノーロード スマートグローバルバランス(成長型)	590,188,531円
たわらノーロード スマートグローバルバランス(積極型)	296,245,513円
たわらノーロード 最適化バランス(保守型)	5,822,877円
たわらノーロード 最適化バランス(安定型)	17,883,326円
たわらノーロード 最適化バランス(安定成長型)	152,829,150円
たわらノーロード 最適化バランス(成長型)	9,590,225円
たわらノーロード 最適化バランス(積極型)	11,116,515円
投資のソムリエ	152,338,139,721円
投資のソムリエ<DC年金>	9,716,685,830円
投資のソムリエ<DC年金>リスク抑制型	10,613,720,350円
リスク抑制世界8資産バランスファンド	52,862,612,111円
ワールドアセットバランス(基本コース)	2,297,070,590円
ワールドアセットバランス(リスク抑制コース)	1,473,306,935円
投資のソムリエ(ターゲット・イヤー2045)	517,540,128円
投資のソムリエ(ターゲット・イヤー2055)	255,210,755円
リスク抑制世界8資産バランスファンド(DC)	68,674,024円
投資のソムリエ(ターゲット・イヤー2035)	1,250,668,526円
リスクコントロール世界資産分散ファンド	5,409,058,155円

9 資産分散投資・スタンダード<DC年金>	5,076,386,054円
投資のソムリエ(ターゲット・イヤー2040)	560,655,038円
投資のソムリエ(ターゲット・イヤー2050)	266,516,902円
投資のソムリエ(ターゲット・イヤー2060)	172,124,562円
投資のソムリエ(ターゲット・イヤー2065)	31,889,281円
外国債券パッシブファンド2(為替フルヘッジ)(適格機関投資家限定)	19,894,655,442円
先進国債券パッシブファンド(為替ヘッジあり)(適格機関投資家限定)	8,035,644,277円
投資のソムリエ・私募(適格機関投資家限定)	3,747,733,114円
リスクコントロール世界8資産バランスファンド(FOFs用)(適格機関投資家専用)	173,068,185円
しあわせの一步・私募(適格機関投資家限定)	122,640,166円
DIAM世界アセットバランスファンド2VA(適格機関投資家限定)	531,321,962円
DIAM世界アセットバランスファンド40VA(適格機関投資家限定)	48,738,549円
DIAM世界アセットバランスファンド25VA(適格機関投資家限定)	332,618,472円
DIAM世界アセットバランスファンド3VA(適格機関投資家限定)	644,790,999円
DIAM世界アセットバランスファンド4VA(適格機関投資家限定)	912,530,898円
DIAM世界アセットバランスファンド7VA(1212)(適格機関投資家限定)	698,032,316円
DIAM世界アセットバランスファンド7VA(1303)(適格機関投資家限定)	2,403,879,369円
DIAM世界アセットバランスファンド7VA(1306)(適格機関投資家限定)	3,179,279,422円
DIAM世界アセットバランスファンド7VA(1309)(適格機関投資家限定)	126,409,489円
計	300,821,408,398円
2. 受益権の総数	300,821,408,398口

(金融商品に関する注記)

金融商品の時価等に関する事項

項目	2022年7月11日現在
1. 貸借対照表計上額、時価及びその差額	貸借対照表上の金融商品は原則としてすべて時価で評価しているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。
2. 時価の算定方法	(1)有価証券 「(重要な会計方針に係る事項に関する注記)」にて記載しております。 (2)デリバティブ取引 「(デリバティブ取引等に関する注記)」にて記載しております。 (3)上記以外の金融商品 上記以外の金融商品(コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務)は短期間で決済されるため、帳簿価額は時価と近似していることから、当該帳簿価額を時価としております。
3. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。また、デリバティブ取引に関する契約額等は、あくまでもデリバティブ取引における名目的な契約額であり、当該金額自体がデリバティブ取引のリスクの大きさを示すものではありません。

(デリバティブ取引等に関する注記)

通貨関連

種類	2022年7月11日現在			
	契約額等(円)	うち 1年超	時価(円)	評価損益(円)
市場取引以外の取引 為替予約取引 売建	382,921,639,520	-	380,441,360,662	2,480,278,858
アメリカ・ドル	194,649,642,761	-	195,594,482,577	944,839,816
イギリス・ポンド	19,269,229,088	-	19,148,398,799	120,830,289
イスラエル・シケル	1,481,964,874	-	1,502,114,378	20,149,504
オーストラリア・ドル	5,770,315,756	-	5,769,167,359	1,148,397
オフショア・人民元	8,712,880,620	-	8,773,507,026	60,626,406
カナダ・ドル	7,825,101,272	-	7,830,064,267	4,962,995
シンガポール・ドル	1,661,203,328	-	1,659,261,766	1,941,562
スウェーデン・クローナ	989,010,534	-	964,001,210	25,009,324
デンマーク・クローネ	1,404,306,336	-	1,369,350,667	34,955,669
ノルウェー・クローネ	771,830,703	-	758,410,883	13,419,820
ポーランド・ズロチ	1,574,656,215	-	1,515,040,883	59,615,332
マレーシア・リンギット	1,904,591,472	-	1,901,286,777	3,304,695
メキシコ・ペソ	2,980,679,418	-	2,955,871,297	24,808,121
ユーロ	133,926,227,143	-	130,700,402,773	3,225,824,370
合計	382,921,639,520	-	380,441,360,662	2,480,278,858

(注) 時価の算定方法

為替予約取引

1. 計算日に対顧客先物売買相場の仲値が発表されている外貨については、以下のように評価しております。

計算日において為替予約の受渡日の対顧客先物売買相場の仲値が発表されている場合は、当該為替予約は当該仲値で評価しております。

計算日において為替予約の受渡日の対顧客先物売買相場の仲値が発表されていない場合は、以下の方法によっております。

・計算日に為替予約の受渡日を超える対顧客先物売買相場が発表されている場合には、発表されている先物相場のうち当該日に最も近い前後二つの先物相場の仲値をもとに計算しております。

・計算日に為替予約の受渡日を超える対顧客先物売買相場が発表されていない場合には、当該日に最も近い発表されている対顧客先物売買相場の仲値を用いております。

2. 計算日に対顧客先物売買相場の仲値が発表されていない外貨については、計算日の対顧客電信売買相場の仲値で評価しております。

3. 換算において円未満の端数は切捨てております。

上記取引で、ヘッジ会計が適用されているものはありません。

(1口当たり情報に関する注記)

	2022年7月11日現在
1口当たり純資産額	1.2730円
(1万口当たり純資産額)	(12,730円)

外国株式パッシブ・ファンド・マザーファンド

貸借対照表

(単位:円)

2022年7月11日現在

資産の部	
流動資産	
預金	8,970,062,600
コール・ローン	617,398,847
株式	699,468,086,811
投資信託受益証券	1,280,678,307
投資証券	16,408,504,439
派生商品評価勘定	299,752,109
未収入金	6,731,745
未収配当金	665,782,043
差入委託証拠金	4,437,753,881
流動資産合計	732,154,750,782
資産合計	
732,154,750,782	
負債の部	
流動負債	
派生商品評価勘定	21,657,893
未払解約金	181,483,000
流動負債合計	203,140,893
負債合計	
203,140,893	
純資産の部	
元本等	
元本	124,615,191,377
剰余金	
剰余金又は欠損金()	607,336,418,512
元本等合計	731,951,609,889
純資産合計	731,951,609,889
負債純資産合計	732,154,750,782

注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

項目	自 2022年1月12日 至 2022年7月11日
1. 有価証券の評価基準及び評価方法	<p>株式 移動平均法に基づき、原則として時価で評価しております。時価評価にあたっては、金融商品取引所等における最終相場（最終相場のないものについては、それに準ずる価額）、又は金融商品取引業者等から提示される気配相場に基づいて評価しております。</p> <p>投資信託受益証券 移動平均法に基づき、原則として時価で評価しております。時価評価にあたっては、金融商品取引所等における最終相場（最終相場のないものについては、それに準ずる価額）、又は金融商品取引業者等から提示される気配相場に基づいて評価しております。</p> <p>投資証券 移動平均法に基づき、原則として時価で評価しております。時価評価にあたっては、金融商品取引所等における最終相場（最終相場のないものについては、それに準ずる価額）、又は金融商品取引業者等から提示される気配相場に基づいて評価しております。</p>
2. デリバティブ等の評価基準及び評価方法	<p>先物取引 個別法に基づき、原則として時価で評価しております。時価評価にあたっては、原則として、計算日に知りうる直近の日の主たる金融商品取引所等の発表する清算値段又は最終相場によっております。</p> <p>為替予約取引 原則として、わが国における計算日の対顧客先物売買相場の仲値によって計算しております。</p>
3. 収益及び費用の計上基準	<p>受取配当金 原則として、配当落ち日において、確定配当金額又は予想配当金額を計上しております。</p>
4. その他財務諸表作成のための基礎となる事項	<p>外貨建取引等の処理基準 外貨建資産及び負債は、計算日の対顧客電信売買相場の仲値により円貨に換算するほか、「投資信託財産の計算に関する規則」（平成12年総理府令第133号）第60条及び同第61条にしたがって換算しております。</p>

(貸借対照表に関する注記)

項目	2022年7月11日現在
1. 本報告書における開示対象ファンドの期首における当該親投資信託の元本額	110,505,806,204円
同期中追加設定元本額	45,697,656,427円
同期中一部解約元本額	31,588,271,254円
元本の内訳	
ファンド名	
DIAM外国株式パッシブ・ファンド	3,348,569,370円
MITO ラップ型ファンド(安定型)	4,574,535円
MITO ラップ型ファンド(中立型)	16,231,630円
MITO ラップ型ファンド(積極型)	82,918,863円

グローバル8資産ラップファンド(安定型)	21,952,399円
グローバル8資産ラップファンド(中立型)	11,618,839円
グローバル8資産ラップファンド(積極型)	19,447,915円
たわらノーロード 先進国株式	34,314,869,892円
たわらノーロード 先進国株式<ラップ向け>	307,127,414円
たわらノーロード 先進国株式<為替ヘッジあり>	2,601,926,026円
たわらノーロード バランス(8資産均等型)	691,379,667円
たわらノーロード バランス(堅実型)	74,463,522円
たわらノーロード バランス(標準型)	626,101,421円
たわらノーロード バランス(積極型)	775,948,253円
たわらノーロード スマートグローバルバランス(保守型)	1,025,842円
たわらノーロード スマートグローバルバランス(安定型)	143,943,839円
たわらノーロード スマートグローバルバランス(安定成長型)	450,444,105円
たわらノーロード スマートグローバルバランス(成長型)	345,903,561円
たわらノーロード スマートグローバルバランス(積極型)	518,839,000円
たわらノーロード 最適化バランス(保守型)	1,447円
たわらノーロード 最適化バランス(安定型)	1,195,675円
たわらノーロード 最適化バランス(安定成長型)	23,297,314円
たわらノーロード 最適化バランス(成長型)	3,696,526円
たわらノーロード 最適化バランス(積極型)	12,516,222円
たわらノーロード 全世界株式	330,610,652円
DIAM外国株式インデックスファンド<DC年金>	53,695,461,176円
One DC 先進国株式インデックスファンド	2,500,098,707円
Oneグローバルバランス	1,779,055円
DIAMバランス・ファンド<DC年金>1安定型	159,345,618円
DIAMバランス・ファンド<DC年金>2安定・成長型	807,702,208円
DIAMバランス・ファンド<DC年金>3成長型	1,032,598,070円
DIAM DC バランス30インデックスファンド	95,884,773円
DIAM DC バランス50インデックスファンド	259,739,340円
DIAM DC バランス70インデックスファンド	247,420,344円
マネックス資産設計ファンド<隔月分配型>	17,659,398円
マネックス資産設計ファンド<育成型>	611,330,918円
マネックス資産設計ファンド エボリューション	124,424,959円
DIAM DC 8資産バランスファンド(新興国10)	169,931,264円
DIAM DC 8資産バランスファンド(新興国20)	193,025,141円
DIAM DC 8資産バランスファンド(新興国30)	312,120,532円
投資のソムリエ	4,959,364,508円
クルーズコントロール	18,688,477円
投資のソムリエ<DC年金>	316,290,046円
DIAM 8資産バランスファンドN<DC年金>	198,490,190円
4資産分散投資・ハイクラス<DC年金>	197,431,786円
投資のソムリエ<DC年金>リスク抑制型	234,889,871円
リスク抑制世界8資産バランスファンド	1,172,881,350円
ワールドアセットバランス(基本コース)	169,383,556円
ワールドアセットバランス(リスク抑制コース)	108,008,871円
投資のソムリエ(ターゲット・イヤー2045)	8,802,294円
投資のソムリエ(ターゲット・イヤー2055)	4,361,726円
リスク抑制世界8資産バランスファンド(DC)	1,521,617円
投資のソムリエ(ターゲット・イヤー2035)	21,895,614円
4資産分散投資・スタンダード<DC年金>	126,465,748円
リスクコントロール世界資産分散ファンド	120,545,314円
9資産分散投資・スタンダード<DC年金>	149,989,893円
投資のソムリエ(ターゲット・イヤー2040)	7,800,298円

投資のソムリエ(ターゲット・イヤー2050)	4,537,875円
投資のソムリエ(ターゲット・イヤー2060)	2,937,468円
4資産分散投資・ミドルクラス<DC年金>	71,574,230円
投資のソムリエ(ターゲット・イヤー2065)	531,747円
インカム重視マルチアセット運用ファンド2019-12(適格機関投資家限定)	1,080,114円
インカム重視マルチアセット運用ファンド2020-06(適格機関投資家限定)	1,203,616円
インカム重視マルチアセット運用ファンド2020-09(適格機関投資家限定)	719,029円
インカム重視マルチアセット運用ファンド2021-03(適格機関投資家限定)	1,054,128円
インカム重視マルチアセット運用ファンド 2021-04(適格機関投資家限定)	126,341円
マルチアセット・インカム戦略ファンド(内外株式債券型・シグナルヘッジ付き)2021-06(適格機関投資家限定)	1,447,832円
インカム重視マルチアセット運用ファンド2021-09(適格機関投資家限定)	961,920円
マルチアセット・インカム戦略ファンド(内外株式債券型・シグナルヘッジ付き)2022-05(適格機関投資家限定)	2,027,331円
MSCIコクサイ・インデックスファンド<為替ヘッジあり>(適格機関投資家限定)	389,467,874円
DIAM外国株式インデックスファンドVA(適格機関投資家専用)	62,459,645円
DIAM外国株式パッシブ私募ファンド(適格機関投資家向け)	1,173,132,137円
DIAM先進国株式パッシブファンド(適格機関投資家限定)	201,584,482円
外国株式パッシブ・ファンド2(適格機関投資家限定)	1,083,071,021円
投資のソムリエ・私募(適格機関投資家限定)	122,028,800円
AMOneマルチアセット・インカム戦略ファンド(シグナルヘッジ付き)(適格機関投資家限定)	1,102,339円
DIAMワールドバランス25VA(適格機関投資家限定)	7,828,694円
インカム重視マルチアセット運用ファンド(適格機関投資家限定)	1,911,209円
リスクコントロール世界8資産バランスファンド(FOFs用)(適格機関投資家専用)	5,714,497円
しあわせの一步・私募(適格機関投資家限定)	3,059,437円
DIAMグローバル・バランスファンド25VA(適格機関投資家限定)	27,951,231円
DIAMグローバル・バランスファンド50VA(適格機関投資家限定)	53,391,962円
DIAM国際分散バランスファンド30VA(適格機関投資家限定)	2,286,931円
DIAM国際分散バランスファンド50VA(適格機関投資家限定)	20,773,039円
DIAM国内重視バランスファンド30VA(適格機関投資家限定)	1,496,555円
DIAM国内重視バランスファンド50VA(適格機関投資家限定)	239,359円
DIAM世界バランスファンド40VA(適格機関投資家限定)	3,804,206円
DIAM世界バランスファンド50VA(適格機関投資家限定)	23,785,435円
DIAMバランスファンド25VA(適格機関投資家限定)	185,903,360円
DIAMバランスファンド37.5VA(適格機関投資家限定)	283,660,486円
DIAMバランスファンド50VA(適格機関投資家限定)	938,500,073円
DIAMグローバル・アセット・バランスVA(適格機関投資家限定)	56,232,735円
DIAMグローバル・アセット・バランスVA2(適格機関投資家限定)	42,244,946円
DIAM アクサ グローバル バランスファンド30VA(適格機関投資家限定)	294,285,316円
DIAM世界アセットバランスファンドVA(適格機関投資家向け)	11,923,755円

D I A M世界バランスファンド5 5 V A (適格機関投資家限定)	1,206,968円
D I A M世界アセットバランスファンド2 V A (適格機関投資家限定)	115,777,074円
D I A M世界アセットバランスファンド4 0 V A (適格機関投資家限定)	10,619,537円
D I A M世界アセットバランスファンド2 5 V A (適格機関投資家限定)	36,231,901円
D I A M世界アセットバランスファンド3 V A (適格機関投資家限定)	56,144,206円
D I A M世界アセットバランスファンド4 V A (適格機関投資家限定)	119,227,676円
動的パッケージファンド< D C 年金 >	2,370,462円
コア資産形成ファンド	1,611,410円
M H A M外国株式インデックスファンド (ファンドラップ)	4,207,688,062円
M H A M外国株式インデックスファンド	141,943,214円
M H A M外国株式インデックスファンド< 為替ヘッジあり > (ファンドラップ)	12,155,326円
M H A M動的パッケージファンド [適格機関投資家限定]	311,176,078円
M H A M外国株式パッシブファンド [適格機関投資家限定]	1,739,061,717円
計	124,615,191,377円
2. 受益権の総数	124,615,191,377口

(金融商品に関する注記)

金融商品の時価等に関する事項

項目	2022年7月11日現在
1. 貸借対照表計上額、時価及びその差額	貸借対照表上の金融商品は原則としてすべて時価で評価しているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。
2. 時価の算定方法	(1)有価証券 「(重要な会計方針に係る事項に関する注記)」にて記載しております。 (2)デリバティブ取引 「(デリバティブ取引等に関する注記)」にて記載しております。 (3)上記以外の金融商品 上記以外の金融商品(コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務)は短時間で決済されるため、帳簿価額は時価と近似していることから、当該帳簿価額を時価としております。
3. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。また、デリバティブ取引に関する契約額等は、あくまでもデリバティブ取引における名目的な契約額であり、当該金額自体がデリバティブ取引のリスクの大きさを示すものではありません。

(デリバティブ取引等に関する注記)

通貨関連

種類	2022年7月11日現在				
	契約額等(円)	うち		時価(円)	評価損益(円)
		1年超			
市場取引以外の取引					
為替予約取引					
買建					
アメリカ・ドル	748,184,798	-	749,033,571	848,773	
イギリス・ポンド	602,493,650	-	603,274,370	780,720	
	11,633,279	-	11,635,657	2,378	

オーストラリア・ドル	19,596,038	-	19,601,710	5,672
カナダ・ドル	13,865,297	-	13,905,118	39,821
ユーロ	100,596,534	-	100,616,716	20,182
合計	748,184,798	-	749,033,571	848,773

(注) 時価の算定方法

為替予約取引

1. 計算日に対顧客先物売買相場の仲値が発表されている外貨については、以下のように評価しております。

計算日において為替予約の受渡日の対顧客先物売買相場の仲値が発表されている場合は、当該為替予約は当該仲値で評価しております。

計算日において為替予約の受渡日の対顧客先物売買相場の仲値が発表されていない場合は、以下の方法によっております。

・計算日に為替予約の受渡日を超える対顧客先物売買相場が発表されている場合には、発表されている先物相場のうち当該日に最も近い前後二つの先物相場の仲値をもとに計算しております。

・計算日に為替予約の受渡日を超える対顧客先物売買相場が発表されていない場合には、当該日に最も近い発表されている対顧客先物売買相場の仲値を用いております。

2. 計算日に対顧客先物売買相場の仲値が発表されていない外貨については、計算日の対顧客電信売買相場の仲値で評価しております。

3. 換算において円未満の端数は切捨てております。

上記取引で、ヘッジ会計が適用されているものはありません。

株式関連

種類	2022年7月11日現在			
	契約額等(円)	うち 1年超	時価(円)	評価損益(円)
市場取引 先物取引 買建	14,880,454,922	-	15,157,700,365	277,245,443
合計	14,880,454,922	-	15,157,700,365	277,245,443

(注) 時価の算定方法

株価指数先物取引

1. 原則として計算日に知りうる直近の日の主たる取引所の発表する清算値段又は最終相場で評価しております。

2. 先物取引の残高表示は、契約額によっております。

3. 契約額等には手数料相当額を含んでおりません。

上記取引で、ヘッジ会計が適用されているものはありません。

(1口当たり情報に関する注記)

	2022年7月11日現在	
1口当たり純資産額		5.8737円
(1万口当たり純資産額)		(58,737円)

J-REITインデックスファンド・マザーファンド

貸借対照表

(単位:円)

2022年7月11日現在

資産の部	
流動資産	
コール・ローン	3,559,681,555
投資証券	193,580,279,300
未収配当金	1,247,393,124
前払金	141,505,350
差入委託証拠金	266,418,000
流動資産合計	198,795,277,329
資産合計	198,795,277,329
負債の部	
流動負債	
派生商品評価勘定	92,685,420
未払金	322,544,502
未払解約金	126,192,000
流動負債合計	541,421,922
負債合計	541,421,922
純資産の部	
元本等	
元本	82,785,656,911
剰余金	
剰余金又は欠損金()	115,468,198,496
元本等合計	198,253,855,407
純資産合計	198,253,855,407
負債純資産合計	198,795,277,329

注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

項目	自 2022年1月12日 至 2022年7月11日
1. 有価証券の評価基準及び評価方法	投資証券 移動平均法に基づき、原則として時価で評価しております。時価評価にあたっては、金融商品取引所等における最終相場（最終相場のないものについては、それに準ずる価額）、又は金融商品取引業者等から提示される気配相場に基づいて評価しております。
2. デリバティブ等の評価基準及び評価方法	先物取引 個別法に基づき、原則として時価で評価しております。時価評価にあたっては、原則として、計算日に知りうる直近の日の主たる金融商品取引所等の発表する清算値段又は最終相場によっております。
3. 収益及び費用の計上基準	受取配当金 原則として、配当落ち日において、確定配当金額又は予想配当金額を計上しております。

(貸借対照表に関する注記)

項目	2022年7月11日現在
1. 本報告書における開示対象ファンドの期首における当該親投資信託の元本額	83,254,722,505円
同期中追加設定元本額	55,703,769,744円
同期中一部解約元本額	56,172,835,338円
元本の内訳	
ファンド名	
MITO ラップ型ファンド(安定型)	424,714円
MITO ラップ型ファンド(中立型)	1,528,511円
MITO ラップ型ファンド(積極型)	7,873,682円
グローバル8資産ラップファンド(安定型)	2,037,929円
グローバル8資産ラップファンド(中立型)	1,082,540円
グローバル8資産ラップファンド(積極型)	1,844,607円
たわらノーロード 国内リート	4,945,376,482円
たわらノーロード 国内リート<ラップ向け>	784,038,579円
たわらノーロード バランス(8資産均等型)	1,669,813,551円
たわらノーロード バランス(堅実型)	30,531,529円
たわらノーロード バランス(標準型)	566,159,829円
たわらノーロード バランス(積極型)	612,615,373円
たわらノーロード スマートグローバルバランス(保守型)	36,161円
たわらノーロード スマートグローバルバランス(安定型)	77,164,285円
たわらノーロード スマートグローバルバランス(安定成長型)	386,263,987円
たわらノーロード スマートグローバルバランス(成長型)	222,907,990円
たわらノーロード スマートグローバルバランス(積極型)	287,421,402円
たわらノーロード 最適化バランス(安定型)	2,172,838円
たわらノーロード 最適化バランス(安定成長型)	32,312,496円
たわらノーロード 最適化バランス(成長型)	3,901,999円
たわらノーロード 最適化バランス(積極型)	10,779,610円
マネックス資産設計ファンド<隔月分配型>	12,475,526円
マネックス資産設計ファンド<育成型>	432,565,572円
マネックス資産設計ファンド エボリューション	3,270,803円
DIAM DC 8資産バランスファンド(新興国10)	127,599,856円

DIAM DC 8資産バランスファンド(新興国20)	190,178,863円
DIAM DC 8資産バランスファンド(新興国30)	341,968,253円
投資のソムリエ	9,662,065,869円
投資のソムリエ<DC年金>	617,721,389円
DIAM 8資産バランスファンドN<DC年金>	145,860,446円
投資のソムリエ<DC年金>リスク抑制型	656,050,838円
リスク抑制世界8資産バランスファンド	3,268,196,189円
投資のソムリエ(ターゲット・イヤー2045)	25,239,430円
投資のソムリエ(ターゲット・イヤー2055)	12,457,609円
リスク抑制世界8資産バランスファンド(DC)	4,243,940円
投資のソムリエ(ターゲット・イヤー2035)	92,211,503円
リスクコントロール世界資産分散ファンド	156,798,397円
9資産分散投資・スタンダード<DC年金>	108,360,798円
投資のソムリエ(ターゲット・イヤー2040)	33,353,607円
投資のソムリエ(ターゲット・イヤー2050)	12,975,486円
投資のソムリエ(ターゲット・イヤー2060)	8,390,593円
投資のソムリエ(ターゲット・イヤー2065)	1,518,096円
Jリートインデックスファンド(DC)	53,165,836円
DIAM J-REITインデックス私募ファンド201212(適格機関投資家限定)	79,635,595円
DIAM J-REITインデックス私募ファンド201401(適格機関投資家限定)	716,769,375円
インカム重視マルチアセット運用ファンド2019-12(適格機関投資家限定)	760,808円
マルチアセット・インカム戦略ファンド(株式先物活用型)20-04(適格機関投資家限定)	176,788,116円
インカム重視マルチアセット運用ファンド2020-06(適格機関投資家限定)	708,067円
マルチアセット・インカム戦略ファンド20-08(適格機関投資家限定)	20,567,727円
インカム重視マルチアセット運用ファンド2020-09(適格機関投資家限定)	551,421円
固定比率マルチアセット戦略ファンド(米ドル建日本政府保証債活用型)(適格機関投資家限定)	190,209,302円
低リスク・損失抑制型マルチアセット戦略ファンド(適格機関投資家限定)	80,120,076円
マルチアセット・インカム戦略ファンド(株式先物活用型・シグナルヘッジ付き)21-03(適格機関投資家限定)	145,541,812円
インカム重視マルチアセット運用ファンド2021-03(適格機関投資家限定)	527,083円
インカム重視マルチアセット運用ファンド 2021-04(適格機関投資家限定)	2,869,206円
マルチアセット・インカム戦略ファンド(シグナルヘッジ付き)2021-05(適格機関投資家限定)	212,223,084円
マルチアセット・インカム戦略ファンド(シグナルヘッジ付き)2021-07(適格機関投資家限定)	349,545,932円
マルチアセット・インカム戦略ファンド(シグナルヘッジ付き)2021-08(適格機関投資家限定)	244,020,096円
低リスク・損失抑制型マルチアセット戦略ファンド2021-09(適格機関投資家限定)	81,279,290円
インカム重視マルチアセット運用ファンド2021-09(適格機関投資家限定)	588,327円

マルチアセット・インカム戦略ファンド(シグナルヘッジ付き)2021-09(適格機関投資家限定)	243,359,188円
マルチアセット・インカム戦略ファンド(シグナルヘッジ付き)2021-12(適格機関投資家限定)	351,032,046円
DIAM J-REITインデックスファンド(適格機関投資家向け)	3,958,882,583円
投資のソムリエ・私募(適格機関投資家限定)	237,869,253円
AMOneマルチアセット・インカム戦略ファンド(シグナルヘッジ付き)(適格機関投資家限定)	26,780,630円
日米資産配分戦略ファンド(インカム重視型)(為替ヘッジあり)(適格機関投資家限定)	614,705,854円
インカム重視マルチアセット運用ファンド(適格機関投資家限定)	1,014,158円
リスクコントロール世界8資産バランスファンド(FOFs用)(適格機関投資家専用)	11,016,698円
しあわせの一步・私募(適格機関投資家限定)	8,455,262円
DIAMグローバル・リスクファクター・パリティ戦略ファンド(適格機関投資家限定)	1,433,418,668円
MHAM J-REITインデックスファンド DC年金	7,751,188,079円
MHAM J-REITインデックスファンド(毎月決算型)	37,486,739,434円
MHAM J-REITインデックスファンド(年1回決算型)	2,642,131,585円
MHAM J-REITインデックスファンド(ファンドラップ)	103,401,163円
計	82,785,656,911円
2. 受益権の総数	82,785,656,911口

(金融商品に関する注記)

金融商品の時価等に関する事項

項目	2022年7月11日現在
1. 貸借対照表計上額、時価及びその差額	貸借対照表上の金融商品は原則としてすべて時価で評価しているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありませぬ。
2. 時価の算定方法	(1)有価証券 「(重要な会計方針に係る事項に関する注記)」にて記載しております。 (2)デリバティブ取引 「(デリバティブ取引等に関する注記)」にて記載しております。 (3)上記以外の金融商品 上記以外の金融商品(コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務)は短期間で決済されるため、帳簿価額は時価と近似していることから、当該帳簿価額を時価としております。
3. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によつた場合、当該価額が異なることもあります。また、デリバティブ取引に関する契約額等は、あくまでもデリバティブ取引における名目的な契約額であり、当該金額自体がデリバティブ取引のリスクの大きさを示すものではありません。

(デリバティブ取引等に関する注記)

不動産投信関連

種類	2022年7月11日現在			
	契約額等(円)	うち 1年超	時価(円)	評価損益(円)
市場取引				

先物取引 買建	4,642,567,350	-	4,550,139,000	92,428,350
合計	4,642,567,350	-	4,550,139,000	92,428,350

(注) 時価の算定方法

不動産投信指数先物取引

1. 原則として計算日に知りうる直近の日の主たる取引所の発表する清算値段又は最終相場で評価しております。
2. 先物取引の残高表示は、契約額によっております。
3. 契約額等には手数料相当額を含んでおりません。

上記取引で、ヘッジ会計が適用されているものはありません。

(1口当たり情報に関する注記)

	2022年7月11日現在
1口当たり純資産額	2,3948円
(1万口当たり純資産額)	(23,948円)

外国リート・パッシブ・ファンド・マザーファンド

貸借対照表

(単位:円)

2022年7月11日現在

資産の部	
流動資産	
預金	157,337,103
コール・ローン	178,417,988
投資信託受益証券	7,127,398,066
投資証券	62,985,944,128
派生商品評価勘定	24,350
未収配当金	239,132,524
流動資産合計	70,688,254,159
資産合計	70,688,254,159
負債の部	
流動負債	
派生商品評価勘定	241
未払金	92,742,540
未払解約金	76,371,000
流動負債合計	169,113,781
負債合計	169,113,781
純資産の部	
元本等	
元本	41,139,882,079
剰余金	
剰余金又は欠損金()	29,379,258,299
元本等合計	70,519,140,378
純資産合計	70,519,140,378
負債純資産合計	70,688,254,159

注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

項目	自 2022年1月12日 至 2022年7月11日
1. 有価証券の評価基準及び評価方法	<p>投資信託受益証券 移動平均法に基づき、原則として時価で評価しております。時価評価にあたっては、金融商品取引所等における最終相場（最終相場のないものについては、それに準ずる価額）、又は金融商品取引業者等から提示される気配相場に基づいて評価しております。</p> <p>投資証券 移動平均法に基づき、原則として時価で評価しております。時価評価にあたっては、金融商品取引所等における最終相場（最終相場のないものについては、それに準ずる価額）、又は金融商品取引業者等から提示される気配相場に基づいて評価しております。</p>
2. デリバティブ等の評価基準及び評価方法	<p>為替予約取引 原則として、わが国における計算日の対顧客先物売買相場の仲値によって計算しております。</p>
3. 収益及び費用の計上基準	<p>受取配当金 原則として、配当落ち日において、確定配当金額又は予想配当金額を計上しております。</p>
4. その他財務諸表作成のための基礎となる事項	<p>外貨建取引等の処理基準 外貨建資産及び負債は、計算日の対顧客電信売買相場の仲値により円貨に換算するほか、「投資信託財産の計算に関する規則」（平成12年総理府令第133号）第60条及び同第61条にしたがって換算しております。</p>

(貸借対照表に関する注記)

項目	2022年7月11日現在
1. 本報告書における開示対象ファンドの期首における当該親投資信託の元本額	46,542,419,917円
同期中追加設定元本額	66,909,115,908円
同期中一部解約元本額	72,311,653,746円
元本の内訳	
ファンド名	
D I A M先進国 R E I Tインデックスファンド<為替ヘッジなし> (ファンドラップ)	81,852,515円
D I A M先進国 R E I Tインデックスファンド<為替ヘッジあり> (ファンドラップ)	41,533,175円
M I T O ラップ型ファンド(安定型)	7,131,079円
M I T O ラップ型ファンド(中立型)	25,314,759円
M I T O ラップ型ファンド(積極型)	129,401,509円
グローバル8資産ラップファンド(安定型)	34,220,840円
グローバル8資産ラップファンド(中立型)	18,121,691円
グローバル8資産ラップファンド(積極型)	30,350,139円
たわらノーロード 先進国リート	13,311,430,329円
たわらノーロード 先進国リート<ラップ向け>	1,108,077,222円
たわらノーロード 先進国リート<為替ヘッジあり>	297,819,841円
たわらノーロード バランス(8資産均等型)	2,332,859,834円
たわらノーロード バランス(堅実型)	21,585,836円

たわらノーロード バランス(標準型)	395,125,099円
たわらノーロード バランス(積極型)	790,220,069円
たわらノーロード スマートグローバルバランス(安定型)	2,849,915円
たわらノーロード スマートグローバルバランス(安定成長型)	5,559,853円
たわらノーロード スマートグローバルバランス(成長型)	93,508,624円
たわらノーロード スマートグローバルバランス(積極型)	218,973,699円
たわらノーロード 最適化バランス(安定型)	126,975円
たわらノーロード 最適化バランス(安定成長型)	16,921,443円
たわらノーロード 最適化バランス(成長型)	3,270,927円
たわらノーロード 最適化バランス(積極型)	13,698,573円
One DC 先進国リートインデックスファンド	1,297,849,973円
マネックス資産設計ファンド<隔月分配型>	14,409,019円
マネックス資産設計ファンド<育成型>	499,933,151円
マネックス資産設計ファンド エボリューション	42,883,778円
DIAM DC 8資産バランスファンド(新興国10)	179,983,530円
DIAM DC 8資産バランスファンド(新興国20)	261,555,203円
DIAM DC 8資産バランスファンド(新興国30)	473,877,608円
投資のソムリエ	10,022,551,513円
投資のソムリエ<DC年金>	640,725,176円
DIAM 8資産バランスファンドN<DC年金>	200,321,449円
投資のソムリエ<DC年金>リスク抑制型	566,074,904円
リスク抑制世界8資産バランスファンド	2,823,905,878円
ワールドアセットバランス(基本コース)	355,965,633円
ワールドアセットバランス(リスク抑制コース)	243,707,293円
投資のソムリエ(ターゲット・イヤー2045)	18,542,730円
投資のソムリエ(ターゲット・イヤー2055)	9,189,986円
リスク抑制世界8資産バランスファンド(DC)	3,661,560円
投資のソムリエ(ターゲット・イヤー2035)	61,255,475円
リスクコントロール世界資産分散ファンド	287,838,763円
9資産分散投資・スタンダード<DC年金>	151,515,045円
投資のソムリエ(ターゲット・イヤー2040)	21,760,898円
投資のソムリエ(ターゲット・イヤー2050)	9,560,137円
投資のソムリエ(ターゲット・イヤー2060)	6,192,217円
投資のソムリエ(ターゲット・イヤー2065)	1,119,065円
DIAMパッシブ資産分散ファンド	276,893,448円
DIAM外国リートインデックスファンド<DC年金>	251,356,424円
インカム重視マルチアセット運用ファンド2019-12(適格機関投資家限定)	983,915円
マルチアセット・インカム戦略ファンド(株式先物活用型)20-04(適格機関投資家限定)	53,121,417円
インカム重視マルチアセット運用ファンド2020-06(適格機関投資家限定)	656,048円
インカム重視マルチアセット運用ファンド2020-09(適格機関投資家限定)	459,027円
マルチアセット・インカム戦略ファンド(株式先物活用型・シグナルヘッジ付き)21-03(適格機関投資家限定)	56,379,915円
インカム重視マルチアセット運用ファンド2021-03(適格機関投資家限定)	583,400円
インカム重視マルチアセット運用ファンド 2021-04(適格機関投資家限定)	826,526円
インカム重視マルチアセット運用ファンド2021-09(適格機関投資家限定)	692,408円
投資のソムリエ・私募(適格機関投資家限定)	246,753,566円

AMOne マルチアセット・インカム戦略ファンド(シグナルヘッジ付き)(適格機関投資家限定)	3,917,008円
インカム重視マルチアセット運用ファンド(適格機関投資家限定)	1,380,735円
リスクコントロール世界8資産バランスファンド(FOFs用)(適格機関投資家専用)	11,551,622円
しあわせの一步・私募(適格機関投資家限定)	7,470,624円
DIAM世界アセットバランスファンドVA(適格機関投資家向け)	80,878,427円
DIAM世界アセットバランスファンド2VA(適格機関投資家限定)	196,263,640円
DIAMグローバル・リスクファクター・パリティ戦略ファンド(適格機関投資家限定)	2,339,054,710円
DIAM海外リートインデックスファンド(適格機関投資家限定)	436,325,289円
計	41,139,882,079円
2. 受益権の総数	41,139,882,079口

(金融商品に関する注記)

金融商品の時価等に関する事項

項目	2022年7月11日現在
1. 貸借対照表計上額、時価及びその差額	貸借対照表上の金融商品は原則としてすべて時価で評価しているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。
2. 時価の算定方法	(1)有価証券 「(重要な会計方針に係る事項に関する注記)」にて記載しております。 (2)デリバティブ取引 「(デリバティブ取引等に関する注記)」にて記載しております。 (3)上記以外の金融商品 上記以外の金融商品(コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務)は短期間で決済されるため、帳簿価額は時価と近似していることから、当該帳簿価額を時価としております。
3. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。また、デリバティブ取引に関する契約額等は、あくまでもデリバティブ取引における名目的な契約額であり、当該金額自体がデリバティブ取引のリスクの大きさを示すものではありません。

(デリバティブ取引等に関する注記)

通貨関連

種類	2022年7月11日現在				
	契約額等(円)	うち		時価(円)	評価損益(円)
		1年超			
市場取引以外の取引					
為替予約取引					
売建	2,632,974	-	2,633,215	241	
ユーロ	2,632,974	-	2,633,215	241	
買建	48,120,495	-	48,144,845	24,350	
アメリカ・ドル	34,114,175	-	34,115,400	1,225	
イギリス・ポンド	3,277,388	-	3,277,650	262	
オーストラリア・ドル	4,666,550	-	4,667,000	450	
カナダ・ドル	3,160,212	-	3,160,293	81	
シンガポール・ドル	2,902,170	-	2,924,502	22,332	

合計	50,753,469	-	50,778,060	24,109
----	------------	---	------------	--------

(注) 時価の算定方法

為替予約取引

1. 計算日に対顧客先物売買相場の仲値が発表されている外貨については、以下のように評価しております。

計算日において為替予約の受渡日の対顧客先物売買相場の仲値が発表されている場合は、当該為替予約は当該仲値で評価しております。

計算日において為替予約の受渡日の対顧客先物売買相場の仲値が発表されていない場合は、以下の方法によっております。

・計算日に為替予約の受渡日を超える対顧客先物売買相場が発表されている場合には、発表されている先物相場のうち当該日に最も近い前後二つの先物相場の仲値をもとに計算しております。

・計算日に為替予約の受渡日を超える対顧客先物売買相場が発表されていない場合には、当該日に最も近い発表されている対顧客先物売買相場の仲値を用いております。

2. 計算日に対顧客先物売買相場の仲値が発表されていない外貨については、計算日の対顧客電信売買相場の仲値で評価しております。

3. 換算において円未満の端数は切捨てております。

上記取引で、ヘッジ会計が適用されているものではありません。

(1口当たり情報に関する注記)

	2022年7月11日現在
1口当たり純資産額	1.7141円
(1万口当たり純資産額)	(17,141円)

エマージング債券パッシブ・マザーファンド

貸借対照表

(単位:円)

2022年7月11日現在

資産の部	
流動資産	
預金	13,272,685,869
コール・ローン	4,416,790,074
国債証券	136,852,495,185
派生商品評価勘定	12,849,960
未収入金	2,514,912,830
未収利息	631,106,126
前払費用	1,234,608,117
流動資産合計	158,935,448,161
資産合計	
158,935,448,161	
負債の部	
流動負債	
未払金	18,718,608,681
未払解約金	207,141,000
流動負債合計	18,925,749,681
負債合計	
18,925,749,681	
純資産の部	
元本等	
元本	70,118,981,084
剰余金	
剰余金又は欠損金()	69,890,717,396
元本等合計	140,009,698,480
純資産合計	140,009,698,480
負債純資産合計	158,935,448,161

注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

項目	自 2022年1月12日 至 2022年7月11日
1. 有価証券の評価基準及び評価方法	<p>国債証券</p> <p>個別法に基づき、原則として時価で評価しております。時価評価にあたっては、金融商品取引業者、銀行等の提示する価額（但し、売気配相場は使用しない）、価格情報会社の提供する価額又は日本証券業協会発表の売買参考統計値（平均値）等で評価しております。</p>
2. デリバティブ等の評価基準及び評価方法	<p>為替予約取引</p> <p>原則として、わが国における計算日の対顧客先物売買相場の仲値によって計算しております。</p>
3. その他財務諸表作成のための基礎となる事項	<p>外貨建取引等の処理基準</p> <p>外貨建資産及び負債は、計算日の対顧客電信売買相場の仲値により円貨に換算するほか、「投資信託財産の計算に関する規則」（平成12年総理府令第133号）第60条及び同第61条にしたがって換算しております。</p>

(貸借対照表に関する注記)

項目	2022年7月11日現在
1. 本報告書における開示対象ファンドの期首における当該親投資信託の元本額	67,295,763,529円
同期中追加設定元本額	122,266,039,745円
同期中一部解約元本額	119,442,822,190円
元本の内訳	
ファンド名	
D I A M新興国債券インデックスファンド<為替ヘッジなし>（ファン ドラップ）	131,087,402円
たわらノーロード バランス（8資産均等型）	2,000,390,968円
たわらノーロード バランス（堅実型）	146,824,403円
たわらノーロード バランス（標準型）	406,871,944円
たわらノーロード バランス（積極型）	169,306,399円
たわらノーロード 最適化バランス（保守型）	827,132円
たわらノーロード 最適化バランス（安定型）	3,486,312円
たわらノーロード 最適化バランス（安定成長型）	34,173,431円
たわらノーロード 最適化バランス（成長型）	2,361,417円
たわらノーロード 最適化バランス（積極型）	4,742,321円
マネックス資産設計ファンド エボリューション	59,256,549円
D I A M D C 8資産バランスファンド（新興国10）	247,220,954円
D I A M D C 8資産バランスファンド（新興国20）	378,978,482円
D I A M D C 8資産バランスファンド（新興国30）	682,627,449円
投資のソムリエ	20,498,469,123円
クルーズコントロール	58,452,826円
投資のソムリエ<DC年金>	1,310,869,154円
D I A M 8資産バランスファンドN<DC年金>	291,081,635円
投資のソムリエ<DC年金>リスク抑制型	1,383,431,937円
リスク抑制世界8資産バランスファンド	6,895,622,254円
ワールドアセットバランス（基本コース）	509,349,876円
ワールドアセットバランス（リスク抑制コース）	325,064,388円
投資のソムリエ（ターゲット・イヤー2045）	53,791,922円
投資のソムリエ（ターゲット・イヤー2055）	26,528,257円

リスク抑制世界8資産バランスファンド(DC)	8,949,450円
投資のソムリエ(ターゲット・イヤー2035)	173,063,432円
リスクコントロール世界資産分散ファンド	707,875,975円
9資産分散投資・スタンダード<DC年金>	217,340,122円
投資のソムリエ(ターゲット・イヤー2040)	62,578,741円
投資のソムリエ(ターゲット・イヤー2050)	27,702,631円
投資のソムリエ(ターゲット・イヤー2060)	17,891,303円
投資のソムリエ(ターゲット・イヤー2065)	3,317,416円
エマージング債券リスク抑制型(適格機関投資家限定)	25,314,461,916円
投資のソムリエ・私募(適格機関投資家限定)	504,474,892円
高度リスク分散・安定型戦略ファンド(適格機関投資家限定)	2,250,092,369円
高度リスク分散・安定型戦略ファンド2(適格機関投資家限定)	428,383,260円
リスクコントロール世界8資産バランスファンド(FOFs用)(適格機関投資家専用)	23,194,881円
しあわせの一步・私募(適格機関投資家限定)	18,173,723円
エマージング債券パッシブファンドVA(適格機関投資家専用)	9,050,826円
DIAM世界アセットバランスファンド2VA(適格機関投資家限定)	170,037,066円
DIAM世界アセットバランスファンド3VA(適格機関投資家限定)	82,417,986円
DIAMグローバル・リスクファクター・パリティ戦略ファンド(適格機関投資家限定)	4,479,158,560円
計	70,118,981,084円
2. 受益権の総数	70,118,981,084口

(金融商品に関する注記)

金融商品の時価等に関する事項

項目	2022年7月11日現在
1. 貸借対照表計上額、時価及びその差額	貸借対照表上の金融商品は原則としてすべて時価で評価しているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。
2. 時価の算定方法	(1)有価証券 「(重要な会計方針に係る事項に関する注記)」にて記載しております。 (2)デリバティブ取引 「(デリバティブ取引等に関する注記)」にて記載しております。 (3)上記以外の金融商品 上記以外の金融商品(コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務)は短期間で決済されるため、帳簿価額は時価と近似していることから、当該帳簿価額を時価としております。
3. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。また、デリバティブ取引に関する契約額等は、あくまでもデリバティブ取引における名目的な契約額であり、当該金額自体がデリバティブ取引のリスクの大きさを示すものではありません。

(デリバティブ取引等に関する注記)

通貨関連

種類	2022年7月11日現在			
	契約額等(円)	うち 1年超	時価(円)	評価損益(円)
市場取引以外の取引				

為替予約取引 買建	4,050,000,000	-	4,062,849,960	12,849,960
アメリカ・ドル	4,050,000,000	-	4,062,849,960	12,849,960
合計	4,050,000,000	-	4,062,849,960	12,849,960

(注) 時価の算定方法

為替予約取引

1. 計算日に対顧客先物売買相場の仲値が発表されている外貨については、以下のように評価しております。

計算日において為替予約の受渡日の対顧客先物売買相場の仲値が発表されている場合は、当該為替予約は当該仲値で評価しております。

計算日において為替予約の受渡日の対顧客先物売買相場の仲値が発表されていない場合は、以下の方法によっております。

・計算日に為替予約の受渡日を超える対顧客先物売買相場が発表されている場合には、発表されている先物相場のうち当該日に最も近い前後二つの先物相場の仲値をもとに計算しております。

・計算日に為替予約の受渡日を超える対顧客先物売買相場が発表されていない場合には、当該日に最も近い発表されている対顧客先物売買相場の仲値を用いております。

2. 計算日に対顧客先物売買相場の仲値が発表されていない外貨については、計算日の対顧客電信売買相場の仲値で評価しております。

3. 換算において円未満の端数は切捨てております。

上記取引で、ヘッジ会計が適用されているものはありません。

(1口当たり情報に関する注記)

	2022年7月11日現在
1口当たり純資産額	1.9967円
(1万口当たり純資産額)	(19,967円)

エマージング株式パッシブ・マザーファンド

貸借対照表

(単位:円)

2022年7月11日現在

資産の部	
流動資産	
預金	2,991,925,573
コール・ローン	243,447,124
株式	58,942,010,212
投資信託受益証券	322,229,480
投資証券	58,941,958
派生商品評価勘定	8,150,152
未収入金	18,459,585
未収配当金	411,927,200
差入委託証拠金	1,855,138,109
流動資産合計	64,852,229,393
資産合計	64,852,229,393
負債の部	
流動負債	
派生商品評価勘定	22,863,442
未払金	2,885
未払解約金	62,044,000
流動負債合計	84,910,327
負債合計	84,910,327
純資産の部	
元本等	
元本	45,722,371,191
剰余金	
剰余金又は欠損金()	19,044,947,875
元本等合計	64,767,319,066
純資産合計	64,767,319,066
負債純資産合計	64,852,229,393

注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

項目	自 2022年1月12日 至 2022年7月11日
1. 有価証券の評価基準及び評価方法	<p>株式</p> <p>移動平均法に基づき、原則として時価で評価しております。時価評価にあたっては、金融商品取引所等における最終相場（最終相場のないものについては、それに準ずる価額）、又は金融商品取引業者等から提示される気配相場に基づいて評価しております。</p> <p>投資信託受益証券</p> <p>移動平均法に基づき、原則として時価で評価しております。時価評価にあたっては、金融商品取引所等における最終相場（最終相場のないものについては、それに準ずる価額）、又は金融商品取引業者等から提示される気配相場に基づいて評価しております。</p> <p>投資証券</p> <p>移動平均法に基づき、原則として時価で評価しております。時価評価にあたっては、金融商品取引所等における最終相場（最終相場のないものについては、それに準ずる価額）、又は金融商品取引業者等から提示される気配相場に基づいて評価しております。</p>
2. デリバティブ等の評価基準及び評価方法	<p>先物取引</p> <p>個別法に基づき、原則として時価で評価しております。時価評価にあたっては、原則として、計算日に知りうる直近の日の主たる金融商品取引所等の発表する清算値段又は最終相場によっております。</p> <p>為替予約取引</p> <p>原則として、わが国における計算日の対顧客先物売買相場の仲値によって計算しております。</p>
3. 収益及び費用の計上基準	<p>受取配当金</p> <p>原則として、配当落ち日において、確定配当金額又は予想配当金額を計上しております。</p>
4. その他財務諸表作成のための基礎となる事項	<p>外貨建取引等の処理基準</p> <p>外貨建資産及び負債は、計算日の対顧客電信売買相場の仲値により円貨に換算するほか、「投資信託財産の計算に関する規則」（平成12年総理府令第133号）第60条及び同第61条にしたがって換算しております。</p>

(貸借対照表に関する注記)

項目	2022年7月11日現在
1. 本報告書における開示対象ファンドの期首における当該親投資信託の元本額	53,702,663,813円
同期中追加設定元本額	27,600,618,554円
同期中一部解約元本額	35,580,911,176円
元本の内訳	
ファンド名	
D I A M新興国株式インデックスファンド< D C 年金 >	8,414,266,805円
D I A M新興国株式インデックスファンド< 為替ヘッジなし > (ファンドラップ)	249,308,647円
M I T O ラップ型ファンド (安定型)	5,577,987円

MITO ラップ型ファンド(中立型)	19,768,014円
MITO ラップ型ファンド(積極型)	100,937,102円
グローバル8資産ラップファンド(安定型)	26,774,998円
グローバル8資産ラップファンド(中立型)	14,149,987円
グローバル8資産ラップファンド(積極型)	23,676,113円
たわらノーロード 新興国株式	9,783,186,729円
たわらノーロード 新興国株式<ラップ向け>	3,101,480,645円
たわらノーロード バランス(8資産均等型)	2,881,375,585円
たわらノーロード バランス(堅実型)	25,957,775円
たわらノーロード バランス(標準型)	96,255,390円
たわらノーロード バランス(積極型)	161,718,540円
たわらノーロード スマートグローバルバランス(保守型)	93,091円
たわらノーロード スマートグローバルバランス(安定型)	129,016,535円
たわらノーロード スマートグローバルバランス(安定成長型)	215,353,289円
たわらノーロード スマートグローバルバランス(成長型)	186,462,808円
たわらノーロード スマートグローバルバランス(積極型)	262,228,230円
たわらノーロード 最適化バランス(安定型)	589,547円
たわらノーロード 最適化バランス(安定成長型)	13,488,479円
たわらノーロード 最適化バランス(成長型)	1,955,155円
たわらノーロード 最適化バランス(積極型)	6,553,530円
たわらノーロード 全世界株式	186,898,793円
One DC 新興国株式インデックスファンド	487,596,612円
マネックス資産設計ファンド エボリューション	395,350,094円
DIAM DC 8資産バランスファンド(新興国10)	357,147,590円
DIAM DC 8資産バランスファンド(新興国20)	528,851,051円
DIAM DC 8資産バランスファンド(新興国30)	967,495,787円
投資のソムリエ	10,185,800,391円
クルーズコントロール	81,036,597円
投資のソムリエ<DC年金>	637,923,633円
DIAM 8資産バランスファンドN<DC年金>	406,484,871円
投資のソムリエ<DC年金>リスク抑制型	538,253,057円
リスク抑制世界8資産バランスファンド	2,743,206,892円
ワールドアセットバランス(基本コース)	688,931,951円
ワールドアセットバランス(リスク抑制コース)	415,453,317円
投資のソムリエ(ターゲット・イヤー2045)	23,368,060円
投資のソムリエ(ターゲット・イヤー2055)	11,544,008円
リスク抑制世界8資産バランスファンド(DC)	3,520,517円
投資のソムリエ(ターゲット・イヤー2035)	76,037,639円
リスクコントロール世界資産分散ファンド	264,669,857円
9資産分散投資・スタンダード<DC年金>	309,327,556円
投資のソムリエ(ターゲット・イヤー2040)	27,408,196円
投資のソムリエ(ターゲット・イヤー2050)	12,012,253円
投資のソムリエ(ターゲット・イヤー2060)	7,772,856円
投資のソムリエ(ターゲット・イヤー2065)	1,404,817円
エマージング株式パッシブファンドVA(適格機関投資家専用)	12,602,484円
投資のソムリエ・私募(適格機関投資家限定)	264,421,242円
リスクコントロール世界8資産バランスファンド(FOFs用)(適格機関投資家専用)	11,634,922円
しあわせの一步・私募(適格機関投資家限定)	6,349,174円
DIAM世界アセットバランスファンド2VA(適格機関投資家限定)	235,467,385円
DIAM世界アセットバランスファンド3VA(適格機関投資家限定)	114,224,608円
計	45,722,371,191円

2. 受益権の総数

(金融商品に関する注記)

金融商品の時価等に関する事項

項目	2022年7月11日現在
1. 貸借対照表計上額、時価及びその差額	貸借対照表上の金融商品は原則としてすべて時価で評価しているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。
2. 時価の算定方法	(1)有価証券 「(重要な会計方針に係る事項に関する注記)」にて記載しております。 (2)デリバティブ取引 「(デリバティブ取引等に関する注記)」にて記載しております。 (3)上記以外の金融商品 上記以外の金融商品(コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務)は短期間で決済されるため、帳簿価額は時価と近似していることから、当該帳簿価額を時価としております。
3. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。また、デリバティブ取引に関する契約額等は、あくまでもデリバティブ取引における名目的な契約額であり、当該金額自体がデリバティブ取引のリスクの大きさを示すものではありません。

(デリバティブ取引等に関する注記)

通貨関連

種類	2022年7月11日現在				
	契約額等(円)	うち		時価(円)	評価損益(円)
		1年超			
市場取引以外の取引 為替予約取引					
売建	1,275,226	-	1,299,731	24,505	
ブラジル・リアル	1,275,226	-	1,299,731	24,505	
買建	464,277,696	-	464,558,988	281,292	
アメリカ・ドル	464,277,696	-	464,558,988	281,292	
合計	465,552,922	-	465,858,719	256,787	

(注) 時価の算定方法

為替予約取引

1. 計算日に対顧客先物売買相場の仲値が発表されている外貨については、以下のように評価しております。

計算日において為替予約の受渡日の対顧客先物売買相場の仲値が発表されている場合は、当該為替予約は当該仲値で評価しております。

計算日において為替予約の受渡日の対顧客先物売買相場の仲値が発表されていない場合は、以下の方法によっております。

・計算日に為替予約の受渡日を超える対顧客先物売買相場が発表されている場合には、発表されている先物相場のうち当該日に最も近い前後二つの先物相場の仲値をもとに計算しております。

・計算日に為替予約の受渡日を超える対顧客先物売買相場が発表されていない場合には、当該日に最も近い発表されている対顧客先物売買相場の仲値を用いております。

2. 計算日に対顧客先物売買相場の仲値が発表されていない外貨については、計算日の対顧客電信売買相場の仲値で評価しております。

3. 換算において円未満の端数は切捨てております。

上記取引で、ヘッジ会計が適用されているものはありません。

株式関連

種類	2022年7月11日現在			
	契約額等(円)	うち 1年超	時価(円)	評価損益(円)
市場取引 先物取引 買建	5,813,449,365	-	5,798,479,288	14,970,077
合計	5,813,449,365	-	5,798,479,288	14,970,077

(注) 時価の算定方法

株価指数先物取引

1. 原則として計算日に知りうる直近の日の主たる取引所の発表する清算値段又は最終相場で評価しております。

2. 先物取引の残高表示は、契約額によっております。

3. 契約額等には手数料相当額を含んでおりません。

上記取引で、ヘッジ会計が適用されているものはありません。

(1口当たり情報に関する注記)

	2022年7月11日現在
1口当たり純資産額	1.4165円
(1万口当たり純資産額)	(14,165円)

4【委託会社等の概況】

(1)【資本金の額】

(2022年7月29日現在)

資本金の額	20億円	
発行する株式総数	100,000株	(普通株式 上限100,000株、A種種類株式 上限30,000株)
発行済株式総数	40,000株	(普通株式24,490株、A種種類株式15,510株)
種類株式の発行が可能		

直近5カ年の資本金の増減：該当事項はありません。

(2)【事業の内容及び営業の状況】

「投資信託及び投資法人に関する法律」に定める投資信託委託会社である委託会社は、投資信託の設定を行うとともに「金融商品取引法」に定める金融商品取引業者としてその運用(投資運用業)ならびにその受益証券(受益権)の募集又は私募(第二種金融商品取引業)を行っています。また、「金融商品取引法」に定める投資助言・代理業を行っています。

2022年7月29日現在、委託会社の運用する投資信託は以下の通りです。(親投資信託を除く)

基本的性格	本数	純資産総額(単位:円)
追加型公社債投資信託	26	1,448,099,465,563
追加型株式投資信託	810	14,656,448,211,575
単位型公社債投資信託	25	51,328,900,179
単位型株式投資信託	221	1,098,492,267,151
合計	1,082	17,254,368,844,468

(3) 【その他】

(1) 定款の変更、事業譲渡又は事業譲受、出資の状況その他の重要事項

委託会社は、アストマックス株式会社からPayPayアセットマネジメント株式会社(以下「PPAM」といいます。)の発行済株式の49.9%を2022年8月1日付で譲り受けており、同日付でPPAMは委託会社の関連会社となりました。

(2) 訴訟事件その他の重要事項

委託会社およびファンドに重要な影響を与えた事実、または与えると予想される事実はありません。

5【委託会社等の経理状況】

1. 委託会社であるアセットマネジメントOne株式会社(以下「委託会社」という。)の財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(昭和38年大蔵省令第59号)ならびに同規則第2条の規定に基づき、「金融商品取引業等に関する内閣府令」(平成19年8月6日内閣府令第52号)により作成しております。
2. 委託者の財務諸表及び中間財務諸表に掲記される科目その他の事項の金額については、従来、千円単位で記載しておりましたが、第37期事業年度の中間会計期間より百万円単位で記載することに変更いたしました。その結果、第36期事業年度の財務諸表の金額については千円未満の端数を、第37期事業年度の財務諸表及び中間財務諸表の金額については百万円未満の端数を切り捨てて記載しております。
3. 委託会社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき第37期事業年度(自2021年4月1日至2022年3月31日)の財務諸表について、EY新日本有限責任監査法人の監査を受けております。

(1) 【貸借対照表】

(単位：百万円)

	第36期 (2021年3月31日現在)	第37期 (2022年3月31日現在)
(資産の部)		
流動資産		
現金・預金	36,734	31,421
金銭の信託	25,670	30,332
未収委託者報酬	16,804	17,567
未収運用受託報酬	5,814	4,348
未収投資助言報酬	317	309
未収収益	7	5
前払費用	724	1,167
その他	2,419	2,673
流動資産計	88,493	87,826
固定資産		
有形固定資産		
建物	1,119	1,268
建物	1 915	1 1,109
器具備品	1 202	1 158
建設仮勘定	0	-
無形固定資産		
ソフトウェア	3,991	4,561
ソフトウェア仮勘定	2,878	3,107
ソフトウェア仮勘定	1,109	1,449
電話加入権	3	3
投資その他の資産		
投資有価証券	11,153	10,153
投資有価証券	261	241
関係会社株式	5,299	5,349
長期差入保証金	1,324	1,102
繰延税金資産	3,676	3,092
その他	591	367
固定資産計	16,264	15,983
資産合計	104,757	103,810

(単位:百万円)

	第36期 (2021年3月31日現在)	第37期 (2022年3月31日現在)
(負債の部)		
流動負債		
預り金	3,730	1,445
未払金	7,337	7,616
未払収益分配金	0	0
未払償還金	9	9
未払手数料	6,889	7,430
その他未払金	437	175
未払費用	9,713	8,501
未払法人税等	4,199	2,683
未払消費税等	2,106	1,330
賞与引当金	1,789	1,933
役員賞与引当金	76	69
流動負債計	28,954	23,581
固定負債		
退職給付引当金	2,292	2,507
時効後支払損引当金	157	147
固定負債計	2,450	2,655
負債合計	31,404	26,236
(純資産の部)		
株主資本		
資本金	2,000	2,000
資本剰余金	19,552	19,552
資本準備金	2,428	2,428
その他資本剰余金	17,124	17,124
利益剰余金	51,800	56,020
利益準備金	123	123
その他利益剰余金	51,676	55,896
別途積立金	31,680	31,680
繰越利益剰余金	19,996	24,216
株主資本計	73,353	77,573
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	0	0
評価・換算差額等計	0	0
純資産合計	73,353	77,573
負債・純資産合計	104,757	103,810

(2) 【損益計算書】

(単位:百万円)

	第36期 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)		第37期 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	
	営業収益			
委託者報酬	89,905		108,563	
運用受託報酬	17,640		16,716	
投資助言報酬	1,103		1,587	
その他営業収益	781		12	
営業収益計		109,430		126,879
営業費用				
支払手数料	37,003		45,172	
広告宣伝費	424		391	
公告費	0		0	
調査費	30,794		36,488	
調査費	11,302		10,963	
委託調査費	19,491		25,525	
委託計算費	543		557	
営業雑経費	938		842	
通信費	46		35	
印刷費	680		606	
協会費	71		66	
諸会費	23		26	
支払販売手数料	116		106	
営業費用計		69,704		83,453
一般管理費				
給料	10,586		10,377	
役員報酬	163		168	
給料・手当	9,030		8,995	
賞与	1,392		1,213	
交際費	8		6	
寄付金	7		15	
旅費交通費	50		40	
租税公課	912		367	
不動産賃借料	1,499		1,674	
退職給付費用	524		495	
固定資産減価償却費	1,078		1,389	
福利厚生費	44		42	
修繕費	0		0	
賞与引当金繰入額	1,789		1,933	
役員賞与引当金繰入額	76		69	
機器リース料	0		0	
事務委託費	3,793		3,901	
事務用消耗品費	68		45	
器具備品費	0		0	
諸経費	152		217	
一般管理費計		20,594		20,578
営業利益		19,132		22,848

(単位:百万円)

	第36期 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)		第37期 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	
営業外収益				
受取利息	27		13	
受取配当金	2		1	559
時効成立分配金・償還金	0		0	
為替差益	7		7	
金銭の信託運用益	1,229		-	
雑収入	13		19	
時効後支払損引当金戻入額	13		10	
営業外収益計		1,293		610
営業外費用				
投資信託償還損	0		-	
金銭の信託運用損	-		743	
早期割増退職金	48		20	
雑損失	0		-	
営業外費用計		48		764
経常利益		20,376		22,694
特別利益				
固定資産売却益	-		0	
特別利益計		-		0
特別損失				
固定資産除却損	1		5	
投資有価証券売却損	-		6	
ゴルフ会員権売却損	-		3	
オフィス再編費用	-		2	509
特別損失計		1		525
税引前当期純利益		20,375		22,169
法人税、住民税及び事業税		7,418		6,085
法人税等調整額		1,168		584
法人税等合計		6,249		6,669
当期純利益		14,125		15,499

(3) 【株主資本等変動計算書】

第36期(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本								株主資本 合計
	資本金	資本剰余金			利益 準備金	その他利益剰余金		利益剰余金 合計	
		資本準備金	その他 資本剰余金	資本剰余金 合計		別途 積立金	繰越利益 剰余金		
当期首残高	2,000	2,428	17,124	19,552	123	31,680	17,871	49,674	71,227
当期変動額									
剰余金の配当							12,000	12,000	12,000
当期純利益							14,125	14,125	14,125
株主資本以外の 項目の当期変動 額(純額)									-
当期変動額合計	-	-	-	-	-	-	2,125	2,125	2,125
当期末残高	2,000	2,428	17,124	19,552	123	31,680	19,996	51,800	73,353

	評価・換算差額等		純資産 合計
	その他 有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	0	0	71,227
当期変動額			
剰余金の配当			12,000
当期純利益			14,125
株主資本以外の 項目の当期変動 額(純額)	0	0	0
当期変動額合計	0	0	2,125
当期末残高	0	0	73,353

第37期(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本								株主資本 合計
	資本金	資本剰余金			利益 準備金	その他利益剰余金		利益剰余金 合計	
		資本準備金	その他 資本剰余金	資本剰余金 合計		別途 積立金	繰越利益 剰余金		
当期首残高	2,000	2,428	17,124	19,552	123	31,680	19,996	51,800	73,353
当期変動額									
剰余金の配当							11,280	11,280	11,280
当期純利益							15,499	15,499	15,499
株主資本以外の 項目の当期変動 額(純額)									-
当期変動額合計	-	-	-	-	-	-	4,219	4,219	4,219
当期末残高	2,000	2,428	17,124	19,552	123	31,680	24,216	56,020	77,573

	評価・換算差額等		純資産 合計
	その他 有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	0	0	73,353
当期変動額			
剰余金の配当			11,280
当期純利益			15,499
株主資本以外の 項目の当期変動 額(純額)	0	0	0
当期変動額合計	0	0	4,219
当期末残高	0	0	77,573

重要な会計方針

1. 有価証券の評価基準及び評価方法	<p>(1) 子会社株式及び関連会社株式 移動平均法による原価法</p> <p>(2) その他有価証券 市場価格のない株式等以外のもの 決算日の市場価格等に基づく時価法 (評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定) 市場価格のない株式等 移動平均法による原価法</p>
2. 金銭の信託の評価基準及び評価方法	時価法
3. 固定資産の減価償却の方法	<p>(1) 有形固定資産 定率法を採用しております。ただし、2016年4月1日以降に取得した建物附属設備については、定額法を採用しております。 なお、主な耐用年数は次のとおりであります。 建物 … 8～18年 器具備品 … 2～20年</p> <p>(2) 無形固定資産 定額法を採用しております。 なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間（5年）に基づく定額法を採用しております。</p>
4. 外貨建の資産及び負債の本邦通貨への換算基準	外貨建金銭債権債務は、期末日の直物等為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として処理しております。
5. 引当金の計上基準	<p>(1) 賞与引当金 従業員に対して支給する賞与の支出に充てるため、将来の支給見込額に基づき当事業年度に見合う分を計上しております。</p> <p>(2) 役員賞与引当金 役員に対して支給する賞与の支出に充てるため、将来の支給見込額に基づき当事業年度に見合う分を計上しております。</p> <p>(3) 退職給付引当金 従業員の退職給付に備えるため、退職一時金制度について、当事業年度末における退職給付債務の見込額に基づき計上しております。 退職給付見込額の期間帰属方法 退職給付債務の算定にあたり、退職給付見込額を当事業年度末までの期間に帰属させる方法については、給付算定式基準によっております。 数理計算上の差異及び過去勤務費用の費用処理方法 過去勤務費用については、その発生時の従業員の平均残存勤務期間内の一定の年数（5年）による定額法により按分した額を費用処理しております。 数理計算上の差異については、各事業年度の発生時の従業員の平均残存勤務期間内の一定の年数（5年または10年）による定額法により按分した額を、それぞれ発生の翌事業年度から費用処理しております。</p> <p>(4) 時効後支払損引当金 時効成立のため利益計上した収益分配金及び償還金について、受益者からの今後の支払請求に備えるため、過去の支払実績に基づく将来の支払見込額を計上しております。</p>

6. 収益及び費用の計上基準	<p>当社は、資産運用サービスから委託者報酬、運用受託報酬及び投資助言報酬を稼得しております。これらには成功報酬が含まれる場合があります。</p> <p>(1) 委託者報酬 委託者報酬は、投資信託の信託約款に基づき、日々の純資産総額に対する一定割合として認識され、確定した報酬を投資信託によって主に年1回又は2回受取ります。当該報酬は期間の経過とともに履行義務が充足されるという前提に基づき、投資信託の運用期間にわたり収益として認識しております。</p> <p>(2) 運用受託報酬 運用受託報酬は、投資顧問契約で定められた報酬に基づき、確定した報酬を顧問口座によって主に年1回又は2回受取ります。当該報酬は期間の経過とともに履行義務が充足されるという前提に基づき、顧問口座の運用期間にわたり収益として認識しております。</p> <p>(3) 投資助言報酬 投資助言報酬は、投資助言契約で定められた報酬に基づき、確定した報酬を顧問口座によって主に年1回又は4回受取ります。当該報酬は期間の経過とともに履行義務が充足されるという前提に基づき、顧問口座の運用期間にわたり収益として認識しております。</p> <p>(4) 成功報酬 成功報酬は、対象となる投資信託または顧問口座の特定のベンチマークまたはその他のパフォーマンス目標を上回る超過運用益に対する一定割合として認識されます。当該報酬は成功報酬を受領する権利が確定した時点で収益として認識しております。</p>
7. 消費税等の会計処理	消費税及び地方消費税の会計処理は税抜き方式によっております。

(会計上の見積りの変更)

第37期 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
当社は、当事業年度において、新しい働き方を踏まえたオフィスレイアウトの見直しを決定しました。これに伴い、当事業年度において、本社オフィスに係る内部造作物等の有形固定資産の見積耐用年数の見直しを行い、将来にわたり変更しております。また、本社オフィスの不動産賃借契約に伴う原状回復義務として認識していた資産除去債務について、退去時に必要とされる原状回復費用及び使用見込期間の見積の変更を行っております。これにより、従来の方法と比べて、当事業年度の営業利益、経常利益及び税引前当期純利益はそれぞれ334百万円減少しております。

(会計方針の変更)

1. 収益認識に関する会計基準等の適用

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。当該会計方針の変更による影響はありません。

2. 時価の算定に関する会計基準等の適用

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。当該会計方針の変更による影響はありません。

また、「金融商品関係」注記において、金融商品の時価のレベルごとの内訳等に関する事項等の注記を行うことといたしました。

(未適用の会計基準等)

・「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(会計基準適用指針第31号 2021年6月17日)

(1) 概要

投資信託の時価の算定及び注記に関する取扱い並びに貸借対照表に持分法相当額を純額で計上する組合等への出資の時価の注記に関する取扱いが定められました。

(2) 適用予定日

当社は、当該会計基準等を2022年4月1日に開始する事業年度の期首から適用する予定であります。

(3) 当該会計基準等の適用による影響

当該会計基準等の適用による影響は、評価中であります。

注記事項

（貸借対照表関係）

1. 有形固定資産の減価償却累計額

（百万円）

	第36期 （2021年3月31日現在）	第37期 （2022年3月31日現在）
建物	407	415
器具備品	978	966

（損益計算書関係）

1. 各科目に含まれている関係会社に対する営業外収益は、次のとおりであります。

（百万円）

	第36期 （自 2020年4月 1日 至 2021年3月31日）	第37期 （自 2021年4月 1日 至 2022年3月31日）
受取配当金	-	543

2. オフィス再編費用

オフィス再編費用は、主に本社オフィスレイアウトの見直しによるものです。

（株主資本等変動計算書関係）

第36期（自 2020年4月1日 至 2021年3月31日）

1. 発行済株式の種類及び総数に関する事項

発行済株式の種類	当事業年度期首 株式数（株）	当事業年度 増加株式数（株）	当事業年度 減少株式数（株）	当事業年度末 株式数（株）
普通株式	24,490	-	-	24,490
A種種類株式	15,510	-	-	15,510
合計	40,000	-	-	40,000

2. 配当に関する事項

（1）配当金支払額

決議	株式の 種類	配当金の総額 （百万円）	1株当たり配 当額（円）	基準日	効力発生日
2020年6月17日 定時株主総会	普通株式	12,000	300,000	2020年3月31日	2020年6月18日
	A種種類 株式				

（2）基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌事業年度となるもの

決議	株式の 種類	配当の 原資	配当金の総額 （百万円）	1株当たり配 当額（円）	基準日	効力発生日
2021年6月16日 定時株主総会	普通 株式	利益 剰余金	11,280	282,000	2021年3月31日	2021年6月17日
	A種種 類株式					

第37期(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

1. 発行済株式の種類及び総数に関する事項

発行済株式の種類	当事業年度期首 株式数(株)	当事業年度 増加株式数(株)	当事業年度 減少株式数(株)	当事業年度末 株式数(株)
普通株式	24,490	-	-	24,490
A種種類株式	15,510	-	-	15,510
合計	40,000	-	-	40,000

2. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の 種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日
2021年6月16日 定時株主総会	普通株式	11,280	282,000	2021年3月31日	2021年6月17日
	A種種類 株式				

(2) 基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌事業年度となるもの
2022年6月16日開催予定の定時株主総会において、以下のとおり決議を予定しております。

決議	株式の 種類	配当の 原資	配当金の総額 (百万円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日
2022年6月16日 定時株主総会	普通 株式	利益 剰余金	12,360	309,000	2022年3月31日	2022年6月17日
	A種種 類株式					

(金融商品関係)

1. 金融商品の状況に関する事項

(1) 金融商品に対する取組方針

当社は、投資運用業を営んでおります。資金運用については、短期的な預金等に限定してあります。

当社が運用を行う投資信託の商品性を適正に維持するため、当該投資信託を特定金外信託を通じて、または直接保有しております。なお、特定金外信託を通じて行っているデリバティブ取引は後述するリスクを低減する目的で行っております。当該デリバティブ取引は、実需の範囲内でのみ利用することとしており、投機的な取引は行わない方針であります。

(2) 金融商品の内容及びそのリスク

金銭の信託の主な内容は、当社運用ファンドの安定運用を主な目的として資金投入した投資信託及びデリバティブ取引であります。金銭の信託に含まれる投資信託は為替及び市場価格の変動リスクに晒されておりますが、デリバティブ取引(為替予約取引、株価指数先物取引及び債券先物取引)を利用して一部リスクを低減しております。

営業債権である未収委託者報酬及び未収運用受託報酬は、相手先の信用リスクに晒されてあります。

投資有価証券は、主にその他有価証券(投資信託)、業務上の関係を有する企業の株式であり、発行体の信用リスクや市場価格の変動リスクに晒されてあります。

営業債務である未払手数料は、1年以内の支払期日であります。

(3) 金融商品に係るリスク管理体制

信用リスク(取引先の契約不履行等に係るリスク)の管理

預金の預入先については、余資運用規程に従い、格付けの高い預入先に限定することにより、リスクの軽減を図っております。

営業債権の相手先の信用リスクに関しては、当社の信用リスク管理の基本方針に従い、取引先ごとの期日管理及び残高管理を行うとともに、主な相手先の信用状況を把握する体制としております。

投資有価証券の発行体の信用リスクに関しては、信用情報や時価の把握を定期的に行うことで管理しております。

市場リスク(為替や金利等の変動リスク)の管理

組織規程における分掌業務の定めに基づき、リスク管理担当所管にて、取引残高、損益及びリスク量等の実績管理を行い、定期的に社内委員会での報告を実施しております。

資金調達に係る流動性リスク(支払期日に支払いを実行できなくなるリスク)の管理

取引実行担当所管からの報告に基づき、資金管理担当所管が資金繰りを確認するとともに、十分な手許流動性を維持することなどにより、流動性リスクを管理しております。

(4) 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明

金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれてあります。当該価額の算定においては変動要因を織り込んでいるため、異なる前提条件等を採用することにより、当該価額が変動することがあります。

2. 金融商品の時価等に関する事項

貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。

第36期(2021年3月31日現在)

	貸借対照表計上額 (百万円)	時価 (百万円)	差額 (百万円)
(1) 金銭の信託	25,670	25,670	-
(2) 投資有価証券 其他有価証券	1	1	-
資産計	25,672	25,672	-

第37期(2022年3月31日現在)

	貸借対照表計上額 (百万円)	時価 (百万円)	差額 (百万円)
(1) 金銭の信託	30,332	30,332	-
(2) 投資有価証券 其他有価証券	1	1	-
資産計	30,334	30,334	-

(注1) 現金・預金、未収委託者報酬、未収運用受託報酬及び未払手数料は、短期間で決済されるため時価が帳簿価額に近似するものであることから、注記を省略しております。

(注2) 金銭債権及び満期のある有価証券の決算日後の償還予定額

第36期(2021年3月31日現在)

	1年以内 (百万円)	1年超5年以内 (百万円)	5年超10年以内 (百万円)	10年超 (百万円)
(1) 現金・預金	36,734	-	-	-
(2) 金銭の信託	25,670	-	-	-
(3) 未収委託者報酬	16,804	-	-	-
(4) 未収運用受託報酬	5,814	-	-	-
(5) 投資有価証券 其他有価証券(投資信託)	-	1	-	-
合計	85,024	1	-	-

第37期(2022年3月31日現在)

	1年以内 (百万円)	1年超5年以内 (百万円)	5年超10年以内 (百万円)	10年超 (百万円)
(1) 現金・預金	31,421	-	-	-
(2) 金銭の信託	30,332	-	-	-
(3) 未収委託者報酬	17,567	-	-	-
(4) 未収運用受託報酬	4,348	-	-	-
(5) 投資有価証券 其他有価証券(投資信託)	-	1	-	-
合計	83,670	1	-	-

3. 金融商品の時価のレベルごとの内訳等に関する事項

金融商品の時価を、時価の算定に係るインプットの観察可能性及び重要性に応じて、以下の3つのレベルに分類しております。

レベル1の時価：観察可能な時価の算定に係るインプットのうち、活発な市場において形成される当該時価の算定の対象となる資産又は負債に関する相場価格により算定した時価

レベル2の時価：観察可能な時価の算定に係るインプットのうち、レベル1のインプット以外の時価の算定に係るインプットを用いて算定した時価

レベル3の時価：観察できない時価の算定に係るインプットを使用して算定した時価

時価の算定に重要な影響を与えるインプットを複数使用している場合には、それらのインプットがそれぞれ属するレベルのうち、時価の算定における優先順位が最も低いレベルに時価を分類しております。

時価で貸借対照表に計上している金融商品

区分	時価（百万円）			
	レベル1	レベル2	レベル3	合計
(1) 金銭の信託	-	6,932	-	6,932
(2) 投資有価証券	-	-	-	-
その他有価証券	-	-	-	-
資産計	-	6,932	-	6,932

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第31号 2019年7月4日）第26項に従い、経過措置を適用した投資信託は上表には含めておりません。貸借対照表における当該投資信託の金額は、金銭の信託23,399百万円、投資有価証券1百万円となります。

（注1）時価の算定に用いた評価技法及び時価の算定に係るインプットの説明

金銭の信託

信託財産は、主として投資信託、デリバティブ取引、その他の資産（コールローン・委託証拠金等）で構成されております。

信託財産を構成する金融商品の時価について、投資信託は基準価額、デリバティブ取引は、取引相手先金融機関より提示された価格によっております。また、その他の資産については短期間で決済されるため、時価は帳簿価額とほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

（注2）市場価格のない株式等の貸借対照表計上額は次の通りであります。

これらについては、「金融商品の時価等の開示に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第19号 2020年3月31日）第5項に従い、2. 金融商品の時価等に関する事項及び3. 金融商品の時価のレベルごとの内訳等に関する事項で開示している表中には含めておりません。

（百万円）

	第36期 （2021年3月31日現在）	第37期 （2022年3月31日現在）
投資有価証券（その他有価証券）		
非上場株式	259	239
関係会社株式		
非上場株式	5,299	5,349

(有価証券関係)

1. 子会社株式及び関連会社株式

子会社株式(第36期の貸借対照表計上額5,299百万円、第37期の貸借対照表計上額5,349百万円)については市場価格がないことから、貸借対照表日における時価及び貸借対照表計上額と当該時価との差額の記載は省略しております。

2. その他有価証券

第36期(2021年3月31日現在)

(百万円)

区分	貸借対照表日における 貸借対照表計上額	取得原価	差額
貸借対照表計上額が 取得原価を超えるもの			
株式	-	-	-
投資信託	-	-	-
小計	-	-	-
貸借対照表計上額が 取得原価を超えないもの			
株式	-	-	-
投資信託	1	2	0
小計	1	2	0
合計	1	2	0

(注) 非上場株式(貸借対照表計上額259百万円)については、市場価格がないことから、上表に含めておりません。

第37期(2022年3月31日現在)

(百万円)

区分	貸借対照表日における 貸借対照表計上額	取得原価	差額
貸借対照表計上額が 取得原価を超えるもの			
株式	-	-	-
投資信託	-	-	-
小計	-	-	-
貸借対照表計上額が 取得原価を超えないもの			
株式	-	-	-
投資信託	1	2	0
小計	1	2	0
合計	1	2	0

(注) 非上場株式(貸借対照表計上額239百万円)については、市場価格がないことから、上表に含めておりません。

3. 事業年度中に売却したその他有価証券

第36期(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

区分	売却額 (百万円)	売却益の合計額 (百万円)	売却損の合計額 (百万円)
投資信託	0	-	0

(注) 投資信託の「売却額」、「売却益の合計額」及び「売却損の合計額」は、償還によるものであります。

第37期(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

区分	売却額 (百万円)	売却益の合計額 (百万円)	売却損の合計額 (百万円)
株式	13	-	6

(退職給付関係)

1. 採用している退職給付制度の概要

当社は、確定給付型の制度として退職一時金制度(非積立型制度であります)を採用しております。確定拠出型の制度としては確定拠出年金制度を採用しております。

2. 確定給付制度

(1) 退職給付債務の期首残高と期末残高の調整表

	(百万円)	
	第36期 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	第37期 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
退職給付債務の期首残高	2,422	2,479
勤務費用	303	295
利息費用	2	2
数理計算上の差異の発生額	4	14
退職給付の支払額	245	185
過去勤務費用の発生額	1	-
その他	1	-
退職給付債務の期末残高	2,479	2,576

(2) 退職給付債務の期末残高と貸借対照表に計上された退職給付引当金の調整表

	(百万円)	
	第36期 (2021年3月31日現在)	第37期 (2022年3月31日現在)
非積立型制度の退職給付債務	2,479	2,576
未積立退職給付債務	2,479	2,576
未認識数理計算上の差異	84	35
未認識過去勤務費用	102	33
貸借対照表に計上された負債と資産の純額	2,292	2,507
退職給付引当金	2,292	2,507
貸借対照表に計上された負債と資産の純額	2,292	2,507

(3) 退職給付費用及びその内訳項目の金額

(百万円)

	第36期 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	第37期 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
勤務費用	303	295
利息費用	2	2
数理計算上の差異の費用処理額	41	34
過去勤務費用の費用処理額	69	69
その他	7	3
確定給付制度に係る退職給付費用	409	398

(注) 上記退職給付費用以外に早期割増退職金として、前事業年度において48百万円、当事業年度において20百万円を営業外費用に計上しております。

(4) 数理計算上の計算基礎に関する事項

主要な数理計算上の計算基礎

	第36期 (2021年3月31日現在)	第37期 (2022年3月31日現在)
割引率	0.09%	0.09%
予想昇給率	1.00% ~ 3.76%	1.00% ~ 3.76%

3. 確定拠出制度

当社の確定拠出制度への要拠出額は、前事業年度100百万円、当事業年度97百万円であります。

(税効果会計関係)

1. 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳

	第36期	第37期
	(2021年3月31日現在)	(2022年3月31日現在)
	(百万円)	(百万円)
繰延税金資産		
未払事業税	260	156
未払事業所税	10	10
賞与引当金	547	592
未払法定福利費	92	92
運用受託報酬	1,410	845
資産除去債務	18	13
減価償却超過額(一括償却資産)	25	12
減価償却超過額	51	58
繰延資産償却超過額(税法上)	301	292
退職給付引当金	701	767
時効後支払損引当金	48	45
ゴルフ会員権評価損	7	7
関係会社株式評価損	166	166
投資有価証券評価損	28	28
その他	3	2
その他有価証券評価差額金	0	0
繰延税金資産小計	3,676	3,092
評価性引当額	-	-
繰延税金資産合計	3,676	3,092
繰延税金負債		
その他有価証券評価差額金	-	-
繰延税金負債合計	-	-
繰延税金資産の純額	3,676	3,092

2. 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との差異の原因となった主要な項目別の内訳
 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との間の差異が法定実効税率の100分の5以下であるため、注記を省略しております。

（企業結合等関係）

当社（以下「AMOne」という）は、2016年7月13日付で締結した、DIAMアセットマネジメント株式会社（以下「DIAM」という）、みずほ投信投資顧問株式会社（以下「MHAM」という）、みずほ信託銀行株式会社（以下「TB」という）及び新光投信株式会社（以下「新光投信」という）（以下総称して「統合4社」という）間の「統合契約書」に基づき、2016年10月1日付で統合いたしました。

1. 結合当事企業

結合当事企業	DIAM	MHAM	TB	新光投信
事業の内容	投資運用業務、投資助言・代理業務	投資運用業務、投資助言・代理業務	信託業務、銀行業務、投資運用業務	投資運用業務、投資助言・代理業務

2. 企業結合日

2016年10月1日

3. 企業結合の方法

MHAMを吸収合併存続会社、新光投信を吸収合併消滅会社とする吸収合併、TBを吸収分割会社、吸収合併後のMHAMを吸収分割承継会社とし、同社がTB資産運用部門に係る権利義務を承継する吸収分割、DIAMを吸収合併存続会社、MHAMを吸収合併消滅会社とする吸収合併の順に実施しております。

4. 結合後企業の名称

アセットマネジメントOne株式会社

5. 企業結合の主な目的

当社は、株式会社みずほフィナンシャルグループ（以下「MHFG」という）及び第一生命ホールディングス株式会社（以下「第一生命」という）の資産運用ビジネス強化・発展に対する強力なコミットメントのもと、統合4社が長年にわたって培ってきた資産運用に係わる英知を結集し、MHFGと第一生命両社グループとの連携も最大限活用して、お客さまに最高水準のソリューションを提供するグローバルな運用会社としての飛躍を目指してまいります。

6. 合併比率

「3. 企業結合の方法」の吸収合併における合併比率は以下の通りであります。

会社名	DIAM (存続会社)	MHAM (消滅会社)
合併比率(*)	1	0.0154

(*) 普通株式と種類株式を合算して算定しております。

7. 交付した株式数

「3. 企業結合の方法」の吸収合併において、DIAMは、MHAMの親会社であるMHFGに対して、その所有するMHAMの普通株式103万8,408株につき、DIAMの普通株式490株及び議決権を有しないIA種類株式15,510株を交付しました。

8. 経済的持分比率（議決権比率）

MHFGが企業結合直前に所有していた当社に対する経済的持分比率 50.00%

MHFGが企業結合日に追加取得した当社に対する経済的持分比率 20.00%

MHFGの追加取得後の当社に対する経済的持分比率 70.00%

なお、MHFGが所有する議決権比率については50.00%から51.00%に異動しております。

9. 取得企業を決定するに至った主な根拠

「3. 企業結合の方法」の吸収合併において、法的に消滅会社となるMHAMの親会社であるMHFGが、結合後企業の議決権の過半数を保有することになるため、企業結合の会計上はMHAMが取得企業に該当し、DIAMが被取得企業となるものです。

10. 会計処理

「企業結合に関する会計基準」(企業結合会計基準第21号 平成25年9月13日公表分)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 平成25年9月13日公表分)に基づき、「3. 企業結合の方法」の吸収合併及びの吸収分割については共通支配下の取引として処理し、の吸収合併については逆取得として処理しております。

11. 被取得企業に対してパーチェス法を適用した場合に関する事項

(1) 被取得企業の取得原価及びその内訳

取得の対価	MHAMの普通株式	144,212百万円
取得原価		144,212百万円

(2) 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

a. 発生したのれん	金額	76,224百万円
b. 発生原因		被取得企業から受け入れた資産及び引き受けた負債の純額と取得原価との差額によります。
c. のれんの償却方法及び償却期間		20年間の均等償却

(3) 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

a. 資産の額	資産合計	40,451百万円
	うち現金・預金	11,605百万円
	うち金銭の信託	11,792百万円
b. 負債の額	負債合計	9,256百万円
	うち未払手数料及び未払費用	4,539百万円

(注) 顧客関連資産に配分された金額及びそれに係る繰延税金負債は、資産の額及び負債の額には含まれておりません。

(4) のれん以外の無形固定資産に配分された金額及び主要な種類別の内訳並びに全体及び主要な種類別の加重平均償却期間

a. 無形固定資産に配分された金額	53,030百万円
b. 主要な種類別の内訳	
顧客関連資産	53,030百万円
c. 全体及び主要な種類別の加重平均償却期間	
顧客関連資産	16.9年

12. 被取得企業に対してパーチェス法を適用した場合の差額

(1) 貸借対照表項目

	第36期 (2021年3月31日現在)	第37期 (2022年3月31日現在)
流動資産	- 百万円	- 百万円
固定資産	84,609百万円	76,763百万円
資産合計	84,609百万円	76,763百万円
流動負債	- 百万円	- 百万円
固定負債	5,570百万円	4,740百万円
負債合計	5,570百万円	4,740百万円
純資産	79,038百万円	72,022百万円

(注) 固定資産及び資産合計には、のれん及び顧客関連資産の金額が含まれております。

のれん	59,074百万円	55,263百万円
顧客関連資産	29,793百万円	25,175百万円

(2) 損益計算書項目

	第36期 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	第37期 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
営業収益	- 百万円	- 百万円
営業利益	8,823百万円	8,429百万円
経常利益	8,823百万円	8,429百万円
税引前当期純利益	8,823百万円	8,429百万円
当期純利益	7,288百万円	7,015百万円
1株当たり当期純利益	182,220円85銭	175,380円68銭
(注) 営業利益には、のれん及び顧客関連資産の償却額が含まれております。		
のれんの償却額	3,811百万円	3,811百万円
顧客関連資産の償却額	5,016百万円	4,618百万円

(資産除去債務関係)

当社は建物所有者との間で不動産賃貸借契約を締結しており、賃借期間終了時に原状回復する義務を有しているため、契約及び法令上の資産除去債務を認識しております。

なお、当該賃貸借契約に関連する長期差入保証金(敷金)が計上されているため、資産除去債務の負債計上に代えて、当該敷金の回収が最終的に見込めないと認められる金額を合理的に見積り、そのうち当期の負担に属する金額を費用計上し、直接減額しております。

(収益認識関係)

1. 収益の分解情報

当事業年度の収益の構成は次の通りです。

	第37期 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
委託者報酬	108,259百万円
運用受託報酬	14,425百万円
投資助言報酬	1,587百万円
成功報酬(注)	2,594百万円
その他営業収益	12百万円
合計	126,879百万円

(注) 成功報酬は、損益計算書において委託者報酬及び運用受託報酬に含めて表示しております。

2. 収益を理解するための基礎となる情報

収益を理解するための基礎となる情報は「重要な会計方針 6. 収益及び費用の計上基準」に記載の通りであります。

(セグメント情報等)

1. セグメント情報

当社は、資産運用業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

2. 関連情報

第36期(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)及び第37期(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(1) サービスごとの情報

サービス区分の決定方法は、損益計算書の営業収益の区分と同一であることから、サービスごとの営業収益の記載を省略しております。

(2) 地域ごとの情報

営業収益

本邦の外部顧客に対する営業収益に区分した金額が損益計算書の営業収益の90%を超えるため、記載を省略しております。

有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

(3) 主要な顧客ごとの情報

特定の顧客に対する営業収益で損益計算書の営業収益の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

(関連当事者情報)

1. 関連当事者との取引

(1) 親会社及び法人主要株主等

第36期(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

該当はありません。

第37期(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

該当はありません。

(2) 子会社及び関連会社等

第36期(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

該当はありません。

第37期(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

該当はありません。

(3) 兄弟会社等

第36期(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

属性	会社等の名称	住所	資本金 又は 出資金	事業の 内容又は 職業	議決権 等の所有(被 所有) 割合	関係内容		取引の内容	取引金額 (百万円)	科目	期末残高 (百万円)
						役員 の 兼任等	事業上 の 関係				
親 会 社 の 子 会 社	株式会社 みずほ銀行	東京都 千代田 区	14,040 億円	銀行業	-	-	当社設定 投資信託 の販売	投資信託の 販売代行手 数料	6,435	未払 手数料	1,457
	みずほ証券株式 会社	東京都 千代田 区	1,251 億円	証券業	-	-	当社設定 投資信託 の販売	投資信託の 販売代行手 数料	12,767	未払 手数料	2,524

第37期(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

属性	会社等の名称	住所	資本金 又は 出資金	事業の 内容又は 職業	議決権 等の所有(被 所有) 割合	関係内容		取引の内容	取引金額 (百万円)	科目	期末残高 (百万円)
						役員 の 兼任等	事業上 の 関係				
親 会 社 の 子 会 社	株式会社 みずほ銀行	東京都 千代田 区	14,040 億円	銀行業	-	-	当社設定 投資信託 の販売	投資信託の 販売代行手 数料	7,789	未払 手数料	1,592
	みずほ証券株式 会社	東京都 千代田 区	1,251 億円	証券業	-	-	当社設定 投資信託 の販売	投資信託の 販売代行手 数料	16,373	未払 手数料	2,651

取引条件及び取引条件の決定方針等

(注1) 投資信託の販売代行手数料は、一般的取引条件を勘案した個別契約により決定しております。

(注2) 上記の取引金額には消費税等が含まれておりません。期末残高には、消費税等が含まれております。

2. 親会社又は重要な関連会社に関する注記

(1) 親会社情報

株式会社みずほフィナンシャルグループ
 (東京証券取引所及びニューヨーク証券取引所に上場)

(2) 重要な関連会社の要約財務諸表

該当はありません

(1株当たり情報)

	第36期 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	第37期 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
1株当たり純資産額	1,833,828円44銭	1,939,327円79銭
1株当たり当期純利益金額	353,145円08銭	387,499円36銭

(注1) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在していないため記載しておりません。

(注2) 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	第36期 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	第37期 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
当期純利益金額	14,125百万円	15,499百万円
普通株主及び普通株主と同等の株主に帰属しない金額	-	-
普通株式及び普通株式と同等の株式に係る当期純利益金額	14,125百万円	15,499百万円
普通株式及び普通株式と同等の株式の期中平均株式数	40,000株	40,000株
(うち普通株式)	(24,490株)	(24,490株)
(うちA種種類株式)	(15,510株)	(15,510株)

(注1) A種種類株式は、剰余金の配当請求権及び残余財産分配請求権について普通株式と同等の権利を有しているため、1株当たり情報の算定上、普通株式に含めて計算しています。

独立監査人の監査報告書

2022年5月26日

アセットマネジメントOne株式会社
取締役会 御中EY新日本有限責任監査法人
東京事務所指定有限責任社員 公認会計士 丘本 正彦
業務執行社員指定有限責任社員 公認会計士 長谷川 敬
業務執行社員

監査意見

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「委託会社等の経理状況」に掲げられているアセットマネジメントOne株式会社の2021年4月1日から2022年3月31日までの第37期事業年度の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書、重要な会計方針及びその他の注記について監査を行った。

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、アセットマネジメントOne株式会社の2022年3月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する事業年度の経営成績を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「財務諸表監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

その他の記載内容

その他の記載内容は、監査した財務諸表を含む開示書類に含まれる情報のうち、財務諸表及びその監査報告書以外の情報である。

当監査法人は、その他の記載内容が存在しないと判断したため、その他の記載内容に対するいかなる作業も実施していない。

財務諸表に対する経営者及び監査等委員会の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査等委員会の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

財務諸表監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての財務諸表に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・ 財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・ 経営者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 経営者が継続企業を前提として財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する財務諸表の注記事項が適切でない場合は、財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた財務諸表の表示、構成及び内容、並びに財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、監査等委員会に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

監査人は、監査等委員会に対して、独立性についての我が国における職業倫理に関する規定を遵守したこと、並びに監査人の独立性に影響を与えると合理的に考えられる事項、及び阻害要因を除去又は軽減するためにセーフガードを講じている場合はその内容について報告を行う。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注1) 上記の監査報告書の原本は当社(有価証券報告書提出会社)が別途保管しております。

(注2) XBR Lデータは監査の対象には含まれておりません。

独立監査人の中間監査報告書

2022年9月9日

アセットマネジメントOne株式会社

取締役会 御中

EY新日本有限責任監査法人

東京事務所

指定有限責任社員

業務執行社員

公認会計士

丘本 正彦

中間監査意見

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられている投資のソムリエ(ターゲット・イヤー2040)の2022年1月12日から2022年7月11日までの中間計算期間の中間財務諸表、すなわち、中間貸借対照表、中間損益及び剰余金計算書並びに中間注記表について中間監査を行った。

当監査法人は、上記の中間財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して、投資のソムリエ(ターゲット・イヤー2040)の2022年7月11日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する中間計算期間(2022年1月12日から2022年7月11日まで)の損益の状況に関する有用な情報を表示しているものと認める。

中間監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に準拠して中間監査を行った。中間監査の基準における当監査法人の責任は、「中間財務諸表監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、アセットマネジメントOne株式会社及びファンドから独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

中間財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して中間財務諸表を作成し有用な情報を表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない中間財務諸表を作成し有用な情報を表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

中間財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき中間財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

中間財務諸表監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した中間監査に基づいて、全体として中間財務諸表の有用な情報の表示に関して投資者の判断を損なうような重要な虚偽表示がないかどうかの合理的な保証を得て、中間監査報告書において独立の立場から中間財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、中間財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に従って、中間監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応する中間監査手続を立案し、実施する。中間監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。なお、中間監査手続は、年度監査と比べて監査手続の一部が省略され、監査人の判断により、不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示リスクの評価に基づいて、分析的手続等を中心とした監査手続に必要に応じて追加の監査手続が選択及び適用される。
- ・ 中間財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な中間監査手続を立案するために、中間財務諸表の作成と有用な情報の表示に関連する内部統制を検討する。
- ・ 経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 経営者が継続企業を前提として中間財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、中間監査報告書において中間財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する中間財務諸表の注記事項が適切でない場合は、中間財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、中間監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、ファンドは継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 中間財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた中間財務諸表の表示、構成及び内容、並びに中間財務諸表が基礎となる取引や会計事象に関して有用な情報を表示しているかどうかを評価する。

監査人は、経営者に対して、計画した中間監査の範囲とその実施時期、中間監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む中間監査上の重要な発見事項、及び中間監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

利害関係

アセットマネジメントOne株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注1) 上記の中間監査報告書の原本は当社(有価証券報告書提出会社)が別途保管しております。

(注2) XBR Lデータは監査の対象には含まれておりません。

独立監査人の中間監査報告書

2022年9月9日

アセットマネジメントOne株式会社

取締役会 御中

EY新日本有限責任監査法人

東京事務所

指定有限責任社員

業務執行社員

公認会計士

丘本 正彦

中間監査意見

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられている投資のソムリエ(ターゲット・イヤー2050)の2022年1月12日から2022年7月11日までの中間計算期間の中間財務諸表、すなわち、中間貸借対照表、中間損益及び剰余金計算書並びに中間注記表について中間監査を行った。

当監査法人は、上記の中間財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して、投資のソムリエ(ターゲット・イヤー2050)の2022年7月11日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する中間計算期間(2022年1月12日から2022年7月11日まで)の損益の状況に関する有用な情報を表示しているものと認める。

中間監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に準拠して中間監査を行った。中間監査の基準における当監査法人の責任は、「中間財務諸表監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、アセットマネジメントOne株式会社及びファンドから独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

中間財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して中間財務諸表を作成し有用な情報を表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない中間財務諸表を作成し有用な情報を表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

中間財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき中間財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

中間財務諸表監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した中間監査に基づいて、全体として中間財務諸表の有用な情報の表示に関して投資者の判断を損なうような重要な虚偽表示がないかどうかの合理的な保証を得て、中間監査報告書において独立の立場から中間財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、中間財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に従って、中間監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応する中間監査手続を立案し、実施する。中間監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。なお、中間監査手続は、年度監査と比べて監査手続の一部が省略され、監査人の判断により、不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示リスクの評価に基づいて、分析的手続等を中心とした監査手続に必要に応じて追加の監査手続が選択及び適用される。
- ・ 中間財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な中間監査手続を立案するために、中間財務諸表の作成と有用な情報の表示に関連する内部統制を検討する。
- ・ 経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 経営者が継続企業を前提として中間財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、中間監査報告書において中間財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する中間財務諸表の注記事項が適切でない場合は、中間財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、中間監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、ファンドは継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 中間財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた中間財務諸表の表示、構成及び内容、並びに中間財務諸表が基礎となる取引や会計事象に関して有用な情報を表示しているかどうかを評価する。

監査人は、経営者に対して、計画した中間監査の範囲とその実施時期、中間監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む中間監査上の重要な発見事項、及び中間監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

利害関係

アセットマネジメントOne株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注1) 上記の中間監査報告書の原本は当社(有価証券報告書提出会社)が別途保管しております。

(注2) XBR Lデータは監査の対象には含まれておりません。

独立監査人の中間監査報告書

2022年9月9日

アセットマネジメントOne株式会社

取締役会 御中

EY新日本有限責任監査法人

東京事務所

指定有限責任社員

業務執行社員

公認会計士

丘本 正彦

中間監査意見

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられている投資のソムリエ(ターゲット・イヤー2060)の2022年1月12日から2022年7月11日までの中間計算期間の中間財務諸表、すなわち、中間貸借対照表、中間損益及び剰余金計算書並びに中間注記表について中間監査を行った。

当監査法人は、上記の中間財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して、投資のソムリエ(ターゲット・イヤー2060)の2022年7月11日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する中間計算期間(2022年1月12日から2022年7月11日まで)の損益の状況に関する有用な情報を表示しているものと認める。

中間監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に準拠して中間監査を行った。中間監査の基準における当監査法人の責任は、「中間財務諸表監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、アセットマネジメントOne株式会社及びファンドから独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

中間財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して中間財務諸表を作成し有用な情報を表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない中間財務諸表を作成し有用な情報を表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

中間財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき中間財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

中間財務諸表監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した中間監査に基づいて、全体として中間財務諸表の有用な情報の表示に関して投資者の判断を損なうような重要な虚偽表示がないかどうかの合理的な保証を得て、中間監査報告書において独立の立場から中間財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、中間財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に従って、中間監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応する中間監査手続を立案し、実施する。中間監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。なお、中間監査手続は、年度監査と比べて監査手続の一部が省略され、監査人の判断により、不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示リスクの評価に基づいて、分析的手続等を中心とした監査手続に必要に応じて追加の監査手続が選択及び適用される。
- ・ 中間財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な中間監査手続を立案するために、中間財務諸表の作成と有用な情報の表示に関連する内部統制を検討する。
- ・ 経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 経営者が継続企業を前提として中間財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、中間監査報告書において中間財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する中間財務諸表の注記事項が適切でない場合は、中間財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、中間監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、ファンドは継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 中間財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた中間財務諸表の表示、構成及び内容、並びに中間財務諸表が基礎となる取引や会計事象に関して有用な情報を表示しているかどうかを評価する。

監査人は、経営者に対して、計画した中間監査の範囲とその実施時期、中間監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む中間監査上の重要な発見事項、及び中間監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

利害関係

アセットマネジメントOne株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注1) 上記の中間監査報告書の原本は当社(有価証券報告書提出会社)が別途保管しております。

(注2) XBR Lデータは監査の対象には含まれておりません。